

天城山およびその近傍のカミキリ

草 間 慶 一*

Longicorn beetles of the Amagi Mountains
and their vicinities

Keiichi KUSAMA*

I 緒

論

筆者が初めて天城山に採集に入ったのは未だ中学生であった1940年で、湯ヶ島から八丁池まで歩いて往復したが、当時は、今とは全く異なり、全山うっそうたる大森林に覆われ「昼なお暗き」と言った感じに圧倒されるような思いであった。当時の記録を見ると、「東海道本線三島駅より電車39分（現在は30分）で修善寺駅、運賃56銭（現在150円）。修善寺駅よりバス40分（現在24分）で湯ヶ島、バス代60銭（現在180円）」と書かれてある。

話によるとこの天城山一帯は戦前は宮内庁に所属する御用林であったとか聞いていたが、そのためか非常に自然が良く保たれていた。ところが戦後に林野庁に御下賜になるや、これらの原生林は伐採に次ぐ伐採で現在の惨状を呈するに至った。

我々が天城山を調べようと思いついた動機は、故新村太朗氏が1940年7月5日、愛鷹山で採集したトガリバネホソコバネカミキリ（以下この文では和名中のカミキリなる語は略す）が地理的に近い天城山でも採集できるのではないかという推定からであった。この事ともう一種、イギリスの昆虫学者 G. LEWIS が1880年5月に伊豆より採集し、1884年 BATES が北限は伊豆と発表した、¹⁾ ベーツヤサの本州からの再発見をしたい、と言う事も含んでいた。

毎年毎年何回も天城山に採集に入り、前者の種は最初の年から数えて19年目に発見、¹⁰⁾ 一つの目的は達せられたが、後の方の種は未だ採集されていない。

今日まで25年間に天城山で採集された珍しいカミキリとしては、天城山が原産地として発表された新種アマギカラカネハナ、¹⁷⁾ 新亜種のアマギキベリクロヒメハナ³⁾があり、また原記載以来最初の種としてはヘリグロホソハナ、トゲムネアラゲや本州未記録種としてここで記録されたものとしてはクモノスモンサビがある。その他採集時においては非常に稀種であったヒラヤマコブハナ、カエデノヘリグロハナ、ヒゲナガヒメルリ、セダカコブヤハズなどがあげられる。

カミキリ以外の甲虫で天城山を原産地として発表された新種はカミキリモドキ科のカトウカミキリモドキ (*Xanthochroa katoi* KONO) などがあり、原記載以来始めてのものとして ミスジナガクチキムシ、1800年代以来約90年間記録のなかったコモンチビオオキノコムシなどがある。その他キンオビハナノミ、クチキクシヒゲムシ、オオヒラタハナムグリ、十七ホシハナムグリなど珍しい甲虫が多数採集されている。

II 採 集 行

最近に我々のグループで天城山にカミキリの採集に入ったのは1948年で、当時湘南高校の生物研究部に属していた後輩の高校生小比賀正敬氏（現在慶応大学・生物学教室教授）が中心となり、生物部の研究課題として数名が水生地附近で採集を行った。翌年も同様な採集が行われたが、1950年から3年間は大学生になった小比賀氏が、下田の臨海実験所に行かれた際、実習の余暇やその往復を利用しては一人で数回天城山での採集を行った。この5年間は天城山のカミキリ調査の第一期という事が出来る。

1953年6月14日、小比賀氏と筆者と2人で水生地にテントを張った。その夕方にここに小屋を持ち、材木の運搬にたづさわつていられた高木隆氏がテントの所に来られて、「このテントよりはまだ私達の小屋の方

*静岡大学理学部生物学教室 静岡市大谷836 Faculty of Science, Shizuoka University, 836 Oya, Shizuoka

が寝やすいだろう」と彼と実姉うめ氏の住む小屋の来るようにさそって下さった。丁度この頃水生地附近の原生林の大伐採が始まっていた。1955年まではこの水生地の高木氏の小屋を根拠地として、約15回の採集行が春から夏の季節に行われた。また高木氏自身も伐採された材木の運搬を行っておられた関係で、熱心にかみキリの採集にも力をそそがれ、この附近で約115種のかみキリが採集された。この1953年～55年の3年間はまさに水生地時代と言うに相応しく、この時代を第二期という事が出来る。

1956年、高木氏が湯ヶ島新田（浄蓮ノ滝の近く）に移転された時から始まり、1958年9月、狩野川台風で好採集地が破壊されるまでの3年間は第三期で、大川端時代とも言えるであろう。この発端は1954年5月2日露木繁雄氏による大川端のカエデの花上からカエデノヘリグロハナ⁹⁾の採集であり、5月上旬のいわゆるゴールデンウィークは大川端で、というのが1961年頃まで続いたが、最盛期は1956年で湯ヶ島新田の故伊藤嘉六の家に約20名京浜地区の虫屋が泊めて載き、大川端を中心として天城山一帯で採集を行ない非常な成果を収めた。1957年にちょうど10年間のかみキリの採集記録を発表したが、その後はこの報告まで天城山や伊豆半島の纏まった報告は発表されていない。

1959年から62年の間の第四期は沈滞期で、八巻林道（現在の天城峠からのハイキングコース）から下の原生林は藤ヶ沢径路附近を残しほとんど伐採されてしまい、狩野川沿いにわずかに残されていた好採集地も狩野川台風で破壊全滅してしまった。さらに不幸なことに、当時湯ヶ島近くの大滝に転居されていた高木氏の家が、この台風での土砂崩壊で跡片も無く流されてしまい、彼が採集し所蔵されていた多数の天城山のかみキリの標本も同時に全部紛失してしまった。この頃奥多摩や奥日光その他に好採集地がぞくぞくと発見され、それらの地域のかみキリ相の調査に大部分の人が行っていたことと、筆者や小比賀氏がアメリカに留学し数年間日本に居なかったこと等が相和して天城山に採集に入る人は激減した。

1963年に湯ヶ島町大滝の高木、栗田両氏の標本中に1962年猫越でアカジマトラの採集されていることが判り、再び猫越を中心として伊豆半島に入る人が増して来た。

1966年は天城山の再認識の年であり、2つの注目すべき発見があった。1つは中村俊彦、都山信夫両氏が5月5日、八巻林道で採取して来られたタンナサワフタギの枯枝から6月上旬に、トガリバホソコバネが十数頭羽化したことである。¹⁶⁾前にも述べたが初めてこのかみキリを求めて天城山に入り出してから約20年の年月がかかった事になる。この寄主植物の判明により天城山中からタンナサワフタギの枯木や枯枝を採取して来ると、多数の本種が羽化する。どうして今までこんなに沢山羽化する種が採集出来なかったのか不思議なくらいである。かみキリなど甲虫の場合には、いくら成虫を沢山採集しても人間が昆虫採集として採る事の出来る数は、実際に発生している数の数十万分の一に過ぎず、その種が昆虫採集によって絶滅するなどという事は有り得ないという良い一つの例であろう。

もう一つは木村欣二氏による猫越方面での調査がある。猫越方面では猫のひたい程度の小地域ではあるが、営林署が学術用として原生林の一部を残して下さった。翌1967年にここで本州では紀伊半島など⁷⁾の採集記録しかなかったタキグチモモブトホソヤクロオビトゲムネなど暖地性の種が産することが判明した。

この地域がせめて現在の十倍位の規模の林として残されていたら、どんなにすばらしい事であつたらうかと残念に思う。

これらの発見により刺戟されて再び天城山に入る人が多くなったが、かつての好採集地の大川端は新天城トンネルの工事のために全滅してしまい、水生地も昔日の面影はなく、遠笠山付近はゴルフ場となってしまった。採集地としては猫越の前述の檜山か、国立公園の特別保護地区に指定されたのでかろうじて残った万二郎岳から西の天城山系の尾根筋ぐらいとなってしまった。

この貴重な原生林の残った尾根筋に自動車道路を通そうという計画を聞かないではないが、現在残されている所はもはや伐採や道路の開通などによって破壊しない欲しいというのが、かみキリの研究に關与する総ての者の願いである。

この報告は第1表に示した採集行の結果を主とし、これに4つの文献、伊豆在住の高木氏の1953～1968年栗田氏の1962～1966年の採集記録を加えて纏めたものである。これ以外に伊豆の中、高等学校の生物班などによる記録があるが、標本を確認してないので除外した。^{4～6,8)}

第1表 1972年度までの採集行の記録

採 年	集 日 月	採 集 者	主 な 採 集 地
1948	9~11. VII	小比賀正敬, 新堀豊彦, 中村仁, 森山昌英	水生地, 八巻林道
1949	3~ 5. VI	小比賀, 新堀, 近藤直行, 奥井一滴	水生地, 八巻林道
	18~21. VII	森可基, 新堀, 中村仁	水生地, 八巻林道
1950	9~11. VII	小比賀	水生地, 八巻林道
1951	30. V	小比賀	水生地
	1~ 5. VI	小比賀	下田
	3. VI	小比賀	水生地
	7~ 8. VI	小比賀	水生地, 八巻林道
1952	1~ 6. VI	小比賀	下田
	3. VI	小比賀	水生地
	30. VI	小比賀	水生地
	4. VII	小比賀	水生地
	7. VII	小比賀	水生地
	25. VII	小比賀	水生地
1953	29~31. V	服部仁	白田, 白田峠
	13~16. VI	小比賀, 草間慶一	水生地, 八巻林道, 八丁池, 寒天
	9~12. VII	小比賀, 草間	水生地, 八巻林道, 八丁池, 沼ノ川
1954	2~ 3. V	露木繁雄, 草間	大川端, 水生地
	22~26. V	武下雅文	水生地, 八巻林道, 八丁池
	15~19. VII	露木, 西川協一	水生地, 八巻林道, 八丁池
	31. VII~2. VIII	小比賀	水生地, 八巻林道, 八丁池
	3~ 8. VIII	小比賀	下田
	(9~10. XII)	草間	浄蓮ノ滝, 天城峠, 七滝
1955	28. IV~1. V	露木	水生地, 八巻林道
	3~ 5. V	手束喜洋, 草間	大川端, 水生地
	26~30. V	武下	水生地
	11. VI	露木	水生地
		VII 山崎秀雄	水生地, 八巻林道, 八丁池
	15~21. VII	柴田泰利	水生地, 八巻林道, 八丁池
	15~27. VII	露木	水生地, 八巻林道, 八丁池, 猿山
	5~10. VIII	露木	水生地, 八巻林道, 八丁池
	25~26. VIII	草間	水生地, 八巻林道, 八丁池
1956	2~ 5. V	草間, 露木, 手束, 服部, 山崎, 小宮次郎	大川端, 水生地, 八巻林道

第1表—2

		大野正男, 養老孟司, 木村欣二, 鈴木正雄 その他約10名	八丁池, 寒天
	20~21. V	露木, 草間	水生地, 八巻林道, 八丁池
	7. VI	草間	水生地
	27. VII	露木	水生地
1957	10. IV	小比賀	水生地
	3~5. V	露木, 草間	大滝, 大川端, 八丁池, 万三郎岳, 遠笠山
	26. V	草間	大川端, 水生地, 八巻林道
	2. VI	木村	湯ヶ島
1958	2. V	小比賀	大川端, 水生地
	3~5. V	草間	大川端, 水生地, 八巻林道
	1. VI	木村	水生地, 八巻林道
1959	28. VII	渡辺弘文	寒天
1960	3. V	小比賀	大川端, 水生地, 八巻林道
	3. VII	小比賀	水生地, 八巻林道
	7~8. VIII	小比賀, 露木	水生地, 八巻林道, 八丁池
1961	1~3. V	中村俊彦(以下中村と略す)	大川端, 水生地, 八巻林道, 八丁池
	11. VI	小比賀, 露木, 木村, 丸岡宏	水生地, 八巻林道, 八丁池
	9. VII	小比賀, 露木	水生地, 八巻林道, 八丁池
1962	3. V	中村	八巻林道, 八丁池
	9. V	加藤晃	浄蓮ノ滝
	6. VIII	小宮	遠笠山
1963	4. V	衣笠恵士	湯ヶ島
	19. V	露木	大川端, 水生地, 八巻林道
	1~2. VI	衣笠, 河合弘, 新井久保, 守屋爽一	湯ヶ島, 大川端, 八巻林道
	27~28. VII	草間	湯ヶ島, 八巻林道, 沼ノ川
	4. VIII	露木, 小宮, 木村	万二郎岳, 遠笠山
	22~24. IX	露木, 手束, 草間	猫越, 水生地
1964	3. V	山上明	大川端, 水生地, 八巻林道
	31. V	小比賀	八巻林道
1965	2~3. V	高桑正敏	湯ヶ島, 八巻林道, 八丁池
	2~5. V	草間	湯ヶ島, 大川端, 桐山
	10. VI	山上, 佐藤勝信	八丁池, 水生地, 旧天城峠, 七滝
	28~29. VII	草間	八巻林道, 八丁池, 万三郎岳, 与市坂

第1表-3

1965	30~31.	Ⅶ	草間	雲見, 波勝
	22.	Ⅷ	松本忠之	天城ロッジ
	4.	Ⅸ	露木	猫越
	4~5.	Ⅸ	郡山信夫	八巻林道, 八丁池, 猫越
1966	23.	Ⅳ	高桑	大川温泉
	3~5.	Ⅴ	中村, 郡山	大川端, 八巻林道, 八丁池
	29.	Ⅴ	小比賀	水生地, 八巻林道
	11~12.	Ⅵ	露木, 衣笠, 中村, 草間	八巻林道, 八丁池
	19.	Ⅵ	小宮	遠笠山
	26.	Ⅵ	小比賀	八巻林道, 八丁池
	30.	Ⅵ	小宮	石廊島
	3.	Ⅶ	露木, 木村, 手束, 田中康彦	遠笠山
	10.	Ⅶ	小宮, 木村, 手束, 田中	遠笠山
	17.	Ⅶ	木村	遠笠山
	22~23.	Ⅶ	草間	野畔, 八巻林道, 八丁池, 白田
	24~26.	Ⅶ	草間	下田, 土肥
	7.	Ⅷ	露木, 木村	猫越
	27.	Ⅸ	高桑	猫越
	1.	X	田中	猫越
		X	中村, 露木, 衣笠	遠笠山
	(17.	XI)	衣笠	遠笠山
1967	(19~20.	Ⅲ)	露木, 衣笠, 中村, 手束, 高桑	猫越
	4.	Ⅳ	衣笠	遠笠山
	28.	Ⅳ	手束	八巻林道
	1.	Ⅴ	青木重幸, 峰薫	八巻林道, 八丁池, 水生地
	3.	Ⅴ	木村	遠笠山
	4.	Ⅵ	峰	八巻林道, 八丁池, 水生地
	2.	Ⅶ	露木, 木村	猫越
	16.	Ⅶ	木村	猫越
	18.	Ⅶ	衣笠, 玉貫光一	遠笠山
	28~29.	Ⅶ	手束, 草間	湯ヶ島, 七滝, 八巻林道
	6.	Ⅷ	中村	下田
	7.	Ⅷ	露木, 木村	猫越
	6.	Ⅸ	小倉勘二郎	大室山
1968	(16~17.	Ⅲ)	露木, 衣笠, 中村, 手束, 待山信吉	湯ヶ島, 猫越
	12.	Ⅴ	木村	湯ヶ島, 猫越
	1.	Ⅵ	木村	猫越
	20.	Ⅵ	木村	湯ヶ島, 猫越
	6~8.	Ⅷ	山上	下田
	(26~27.	XII)	草間	湯ヶ島, 水生地, 八巻林道, 八丁池
1969	(1~3.	I)	鈴木和利 (以上鈴木と略す)	八巻林道, 八丁池, 遠笠山

第1表-4

1970	4~ 5.	V	草間	湯ヶ島, 大川端, 猫越
	9.	V	衣笠	遠笠山
	18.	V	木村	蓮台寺
	15.	VI	木村	石廊峠
	26.	VII	小比賀	遠笠山
	27.	VII	鈴木	天城峠, 旧天城峠, 猿山
	26.	IV	待山	八巻林道, 八丁池
	30.	V	大木裕	大瀬崎
	19. VI~4.	VI	山上, 米川博道	下田
	5.	VII	露木	水生地, 八巻林道
	10.	VII	松本	水生地, 寒天林道, 八丁池
	19.	VII	鈴木, 山上	旧天城峠, 猿山, 八巻林道, 八丁池
				水生地,
	27.	VII	中里幸生	下田
1971	7.	IX	山上, 峰	猫越
	13.	IX	山上, 鈴木	猫越口, 持越
	15.	IX	峰, 青木小四郎	猫越口, 猫越峠
	(4~ 6. III)		山上, 峰, 田宮康臣	大滝, 八丁池, 水生地, 長九郎山
	14~15.	IV	山上, 峰, 田宮, 池田清彦, 堀道雄	大滝
	9.	V	高橋勝	水生地, 八巻林道
	23.	V	高桑	一碧湖
	23.	V	鈴木	水生地, 八巻林道, 八丁池
	30.	V	露木, 木村, 大木, 上坂幹夫	大瀬崎
	16.	VI	峰	天城峠, 旧天城峠, 滑沢溪谷
	25.	VI	山上, 鈴木, 峰	長九郎山
	31.	VI	露木, 高桑	水生地, 八巻林道
	10~11.	VIII	中村, 恵谷桂	八丁池, 寒天林道
	(4~ 6. III)		山上, 鈴木, 田宮, 池田, 堀	水生地, 八丁池, 猫越峠
1972	(26. III)		手束, 草間	猫越, 寒天林道, 八丁池
	16.	IV	斎藤秀生, 斎藤秀秋, 林良一	水生地, 八巻林道, 八丁池
	23.	IV	草間	城ヶ崎
	4~ 7.	V	小林敏男	宮ヶ原, 波勝, 仲木
	11.	VI	松本	水生地, 八巻林道, 寒天林道
	25.	VI	山上, 鈴木	天城峠, 旧天城峠, 滑沢溪谷
	3.	VII	高桑	下田須崎
	26.	VII	山上, 鈴木	天城峠, 旧天城峠, 滑沢溪谷
	30.	VII	松本	水生地, 八巻林道
	3.	IX	鈴木	猫越峠, 仁科峠
	11.	II	小田義広, 久保田篤男	下田須崎
	6~10.	III	鈴木	下田
	18.	III	前田光広, 藤田宏, 伊藤正雄, 川田道夫	下田, 遠笠山, 万二郎岳

() は成虫の採集を行わず, 枯木, 枯枝の採取のみ

Ⅲ 地形と主な採集地

伊豆半島の中心部にある山地を天城山と呼んでいるが、かなり広範囲の地域で、狩野川—河津川の線を境として東西の2山系に分けられる。東部が天城山系で八丁池から遠笠山まで1200m位の高度が続き、最高峰が万三郎岳の1406mである。西部は猫越山系というが、これらは東部より低く最高点が猫越岳の1,034.7mであるが、1,000m以上の所はほんの僅かである。我々が今までに採集した地域は海岸地帯を別にとすると、大部分が天城山系と猫越付近である。(第1図参照)

伊豆半島を高度、森林の種類およびカミキリの種類などにより4つに大別して考えるのが便利と思う。即ち高度の低い方から

- 1) 海岸地帯(シータブ林) 0~200m
- 2) 暖帯林(カシ—常緑広葉樹林) 200~500m
- 3) 中間帯林(モミ—常緑広葉樹林) 500~1,000m
- 4) 温帯林(ブナ—ミズナラ林) 1,000~1,400m

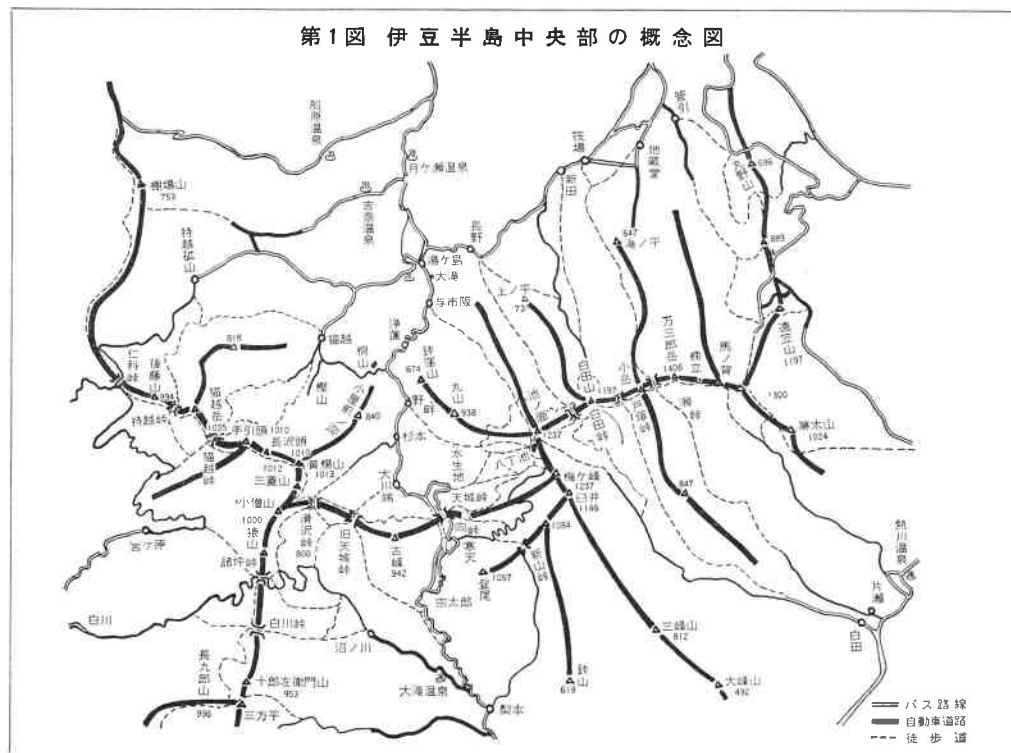
である。この順に各帯の特長、主な採集地の消長やカミキリの種類について述べて見る。

1) 海岸地帯(シータブ林帯) (標高0~200m), A帯と略す。

海岸付近の低地での良い採集地は、シータブ林の所で、シイ、タブノキが主体でその他クス科植物やオオバヤシャブシやウパメカシなどが生じている。

この地帯での採集記録の多いのは下田付近で、最初のカミキリの記録は、江戸時代下田に入港したロシア船に乗っていた GASCHKEVICH 夫人がこの付近で採集を行ない、その標本を基として Victor de MORTS CHULSKY が、1857, 1860, 1861, 1866年に "Insectes du Japon" という表題で4回にわたって8新種と日本における新分布1種を発表した、これを第2表に示したが、発表時の学名と現在用いられている和名も()内に合せ記述してある。

第1図 伊豆半島中央部の概念図





第2表 MOTSCHULSKY の発表した伊豆のカミキリ

学 名 (和 名)	1857	1860	1861	1896
<i>Prionus insularis</i> (ノコギリ)	新種(♀)	再 録	♂の記載*	再 録
<i>Purpuricenus spectabilis</i> (ヘリグロベニ)	新種(♀)	再 録		再 録
<i>Purpuricenus japonus</i> (ベニ)	新種(♂♀)	再 録		再 録
<i>Cerosterna glabripennis</i> ** (ゴマダラ)		日本が 新 分 布		再 録
<i>Callidium rufipenne</i> (ヒメスギ)		新 種		再 録
<i>Stennra ochraceofasciata</i> (ヨツスジハナ)			新 種*	再 録
<i>Strangalia tenuicornis</i> *** (ニンフハナ)			新 種	再 録
<i>Callidium albofasciatum</i> (シロオビチビヒラダ)				新 種
<i>Pogonocherus granulatus</i> **** (アトモンサビ)				新 種*

*) モスクワ大学動物学博物館に記載の標本の存在しているもの。

**) MOTSCHULSKY が¹¹⁾1853北支那を原産地として発表した種(和名, ツヤハダゴマダラ)で, 日本まで分布すると記述されているが, これは明らかにゴマダラカミキリの同定間違である。

***) この学名の種は従来はツマグロハナにあてていたが, 大林がニンフハナのシノニムとした。¹⁸⁾タイプ標本が既に紛失してしまっているので, 大林の処理に従う。

****) 約100年間疑問種であったが, 1971年5月, 筆者がタイプ標本を調べた結果, BATESのアトモンサビ *Praonethe rigida* (現在の *Pterolophia* 属) が本種のシノニムであることが判った。

1951年以後の筆者の知っている下田での採集記録は、主として小比賀氏その他の方々による教育大学臨海実験所付近のものである。下田以外のこの地帯で記録のある所は、海岸線では大瀬崎、石廊崎など。半島内部では河津ぐらいである。

採集されている主なカミキリは、幼虫の寄生植物がこの地域に多く、かつ趨光性で、灯火に良く飛来する種が多い。例えば ベーツヒラタ（幼虫の寄生植物は シイ、タブノキなど）アオスジ（ネムノキ）などであり、またタブノキの新芽を食害するホシベニも河津で採集されている。面白い記録としては石廊崎から採取したオオバヤシャブシの枯木よりハスオビヒゲナガが羽化したこと、大瀬崎のムネマダトラなどがある。特記すべき種としては下田須崎のハチジョウウスアヤで、これは伊豆諸島、房総半島で採集されていたので、高桑正敏氏の予言通り、伊豆半島にも産する事が1973年の2月に証明された。

2) 暖帯林（カシー常緑広葉樹林帯）（標高約200~500m）、B帯と略す。

バス路線でいうと天城峠の北側で湯ケ島から杉本までの間で、主な採集地は浄蓮の滝、桐山、野畔の営林署の付近。南側では梨本から宗太郎上（有料道路への分枝点）までの地域で、主な採集地は大滝温泉と沼ノ川付近。猫越山系では宮ケ原の記録があるが、この地帯で一番重要な所は猫越の学術保存林の檜山である。

この地帯で主な植物はウラジロガシ、シラカシ、アラカシなどのカシ類、タブノキ、モチノキ、サカキなどの常緑広葉樹。落葉樹ではケヤキ、イロハモミジ、コナラ、クリ等の高木が混生し、つる植物ではフジが多く見られる。

上記の如き植物の材や枯木につくカミキリは平地性、暖地性のものが多く、特に猫越の檜山では後述のように暖地性の珍らしい種が色々と採集されている。普通のタケはこの地帯までで、タケに寄生するベニやハイロヤハズが採集される。またクリもこの地帯までで、6月中旬から下旬にかけて咲くが、この時期が梅雨時なので天気の良い日に当ることが少なく、この花上での採集品としては、ハススジハナ、真黒なヤツボシハナ、カクムネヒメハナ、オオヒメハナ、チャボハナ、キイロトラなどで、余り興味深い種は残念ながら今までの所では採れていない。イロハモミジも5月初めに開花するが、ピクニセハムシハナ、アマギキベリクロヒメハナ以外には珍らしい種は採集されず、同じ時期に開花するモミ帯のカエデの花とは非常な差がある。

この地帯での過去、現在での主な採集地について述べて見る。

(i) 浄蓮ノ滝付近

1958年頃までは好採集地で、天城山としては珍らしいハネビロハナやヒラヤマコブハナなどが採集された。当時は狩野川左岸の山が原生林として残っており、店屋も新月一軒のみで観光客もまばらであった。しかし最近では滝の付近にわずかに原生林が残るだけであり、多数の観光客相手の数十軒もの店と、広い駐車場がかったの採集地を占領してしまい、もはや採集は期待出来ない。

(ii) 檜山

現在の好採集地は前にも述べたが猫越の檜山で、学術用保存林ということなのでしばらくは伐採されることはないであろうが、もう少し広く残して欲しかった。ここで採集された稀種は、Ⅱの採集行の所で述べたようにタキグチモモトホソ、クロオビトゲムネなど暖地性の種である。

(iii) その他野畔の営林署の宿舍の入口のリョウブの花にはオオヨツスジハナなど良くカミキリが集まっており、ここでの灯火採集もクロ、ホソ、ノコギリ、ニセノコギリなどが来るので無駄ではない。

天城峠の南側はコナラクリなどの二次林やスギの植林が大部分で好採集地といえる所はない。七滝入口から沼ノ川の間の地帯で時々採集を行なったが、目ぼしい記録は大滝温泉の天城荘の灯火でケブトハナが採集されたぐらいで、沼ノ川に営林署の貯木場があった時代でも普通種ばかりであった。

仁科峠の南側もコナラなどの二次林であるが、宮ケ原で昨年5月上旬にアマギキベリクロヒメハナやピクニセハムシハナが採集された。

3) 中間帯林（モミ帯）—常緑広葉樹林（標高約500~1,000m）、C帯と略す。（第2図参照）

バス道路では大川端—宗太郎間、この中主な所は大川端、水生地付近とここから天城トンネルの間、寒天

橋付近と寒天林道、八巻林道、天城峠より猿山を経て長九郎山の間の尾根筋、猫越峠付近などを含む地帯で、伊豆半島で一番良い採集地であったし、現在でも良い所が残っている。

この地帯の植物は上部の寒地性の植物と、低地の暖地性の植物が混じっており、木の種類が豊富でしたがってカミキリの種類も多く、天城山の特産種や稀種が採集される。針葉樹としてはモミ、ツガ、ヒノキが目につき、またスギの植林も多いが、天城山では針葉樹につくカミキリで珍しい種類は報告されていない。もう少し標高の高い所の針葉樹からは非常に珍しいカミキリが多種採集されているが。広葉樹としてはケヤキ、ホオノキ、ヤマハンノキ、アカガシ、ミズキ、リョウブ、アカメガシワ、イロハモミジ、コハウチワカエデ等のカエデ類、マユミなどがカミキリと関係の深い高木であり、また上部のブナ帯ほど多くはないが、ブナ、ヒメシャラなども混じっている。

これら植物の倒木や枯木、枯枝から採集されるカミキリは非常に種類が多いが、特筆すべきものとしては新鮮なケヤキの倒木からのアカジマトラが多数採集されたことであろう。猫越の818 m峰の北側斜面、標高600~700 mの所の倒木からで、従来は長野県以外では余りまとまって多数採集された例は殆んどない。ケヤキの倒木は良いカミキリの集合場で、その他キンケトラ、ウスイロトラなどのトラカミキリ数が多い。重要な枯木としてはミズキがある。この植物は倒れて枯れてしまい葉が1枚もなくとも、小枝の先が円まっている特徴があるのでミズキと判定出来る。クモノスモンサビ、ドイ、ヒトオビアラゲ、フタオビアラゲ、フタモンアラゲなどのフトカミキリ類や、アマギカラカネハナ、ヒナリハナなどのハナカミキリ類もこの倒木に産卵に来る。ヒメシャラの枯木はトビイロが寄生する。

灌木でカミキリにとって重要なものは、タンナサワフタギが一番であるが、これは次のブナ帯の所で述べる。次にアブラチャン、ウシコロシ、アマギアマチャ、ガマズミである。アブラチャンの枯木からはヒゲナガヒメルリをはじめとして、ドイ、キッコウモンケシ、ホソヒゲケブカ、ニジマチビなどの小型のフトカミキリ類が多数採集される。アマギアマチャの枯枝にはドウボソが良く着いており、カッコウが採集されたこともある。

第3表 カミキリの集まる主な植物の花期

種 名	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
イロハモミジ	湯ヶ島 (200)	天城トンネル (800)			
その他のカエデ類		大川端 (550)	御幸径路 (1100)		
ウシコロシ		水生地 (650)	御幸径路 (1200)		
タンナサワフタギ		白田 (550)	八丁池 (1300)		
ク リ			浄蓮 (300) 大川端 (550)		
アマギアマチャ			杉本 (450)	八巻林道 (1000)	
ゴトウヅル			大川端 (550)	八巻林道 (1000)	
リョウブ				水生地 (650)	八巻林道 (1000)
ノリウツギ					八丁池 (1100~1300)

() 内は標高、単位m

つる植物ではゴトウヅルが重要で、この枯づるからムネモンヤツボシの稀種が採集され、ツルウメモドキの枯づるからはクビジロ、ノブドウからはアカネ、シロオビチビヒラタ、アカネトラなどの珍らしいカミキリもときどき採集された。

この地帯でのカミキリは倒木や枯づるにも多いが、これらにも増して花上に多数集合した稀種も少なくない。天城山でカミキリの良く集まる植物の花期と標高との関係を第3表に示した、

第3表中の植物で一番多くの種のカミキリが集まるのはカエデ類の花上である。この地帯では4月末から6月上旬までの間に種々のカエデ類の花が咲く、花の赤いイロハモミジが一番早く開花する。おそらくオオモミジと思われる花の赤味の薄いカエデはすこし花期が遅く、大川端の川沿の所から上部に生じていた。花の黄色いのはコハウチワカエデではないかと思うが、水生地から上部で見られる。天城山のカエデの花上で20種以上のカミキリが採集されているが、このうち珍らしい種類としては、ヒラヤマコブハナ（1頭）、カエデノヘリグロハナ（4頭）、ピクニセハムシハナ（100頭以上）アマギカラカネハナ（数頭）、その他 *Pidonia* 類、トラカミキリ類などが多数採集された。（第4表参照）

ウシコロシ、タンナサワフタギは5月中、下旬から6月上、中旬に開花し、これからもヘリウスハナ、ヘリグロホソハナなど15年程前には非常に珍しかったカミキリが採れた。

6月中旬頃から7月上旬にかけて咲くゴトウヅルの花もすばらしいカミキリの集合場で、テツイロハナ、ピクニセハムシハナをはじめとして無数とも言える程のトビイロ、トゲヒゲトラ、ヒナルリハナ、*Pidonia* の類が見られた。しかしゴトウヅルは高木にからみ、その木を弱らせると言う理由からか、根元から切られているのが多くなり、最近では天城山ではゴトウヅルの花が非常に少なくなった。

リョウブも良い花で、今は無いが水生地のリョウブの花上から色々のカミキリが採集されたものである。

この地帯での約25年間の主な採集地の消長について簡単に述べて見る。

(i) 大川端付近および大川端—寒天橋間のバス道路。

1958年頃まではバス、トラック、ハイヤーなどの自動車の交通量はかなりあったが、5月はじめのカエデの花が咲く時期には、杉本のワサビ沢の中にある大きなイロハモミジより始まり、天城トンネルまでの間に、点々として生えていたカエデ類の花上に非常に種々のカミキリが集合した。またアマギアマチャ、ゴトウヅル、リョウブの花上、枯木、枯づるの採集と8月下旬まで何時訪れても好採集地であった。これは当時は狩野川の両側の崖が原生林で木の種類が豊富であったからであろう。しかし1958年秋の狩野川台風で、大川端から水生地下までの地域が崩壊し、道路沿の木は全滅した。それに加えるに自家用車の発達と共に天城トンネルまでの交通量の激増および新天城トンネルの工事のために、川沿の木が伐採され、この地域でのカミキリの種数は激減した。特に大川端がひどく、この地域において1956年にはカエデの花上で20種のカミキリが採集された。ヒラヤマコブハナ、ヘリウスハナ、カエデノヘリグロハナ、アマギカラカネハナなどの稀種がこの中に含まれていた。（第4表参照）

1957、58年は寒くてこの時期に全くカエデが開花していなかった、その後1965年に同じ時期に訪ずれた時は、キコリ小屋付近の広場の大人2抱えもある大きなイロハモミジやその近くの落葉広葉樹がすっかり切り倒されており、前述のようにバス道路沿のカエデ（十数本あった）も一本もなく、川沿のカエデの花は満開であったが、この付近で3日間採集し全カミキリの種類が以前の1/4の8種であった、その2、3年後に川沿のカエデその他もすべて伐られ、1969年には1日この付近で昔の事をしのびながら採集したが、花上ではわずかに1種しか採れず、計2種4頭と惨たんたる有様であった。環境の破壊により昆虫が絶滅する一つの例とも言えよう。

第4表 5月上旬の大川端付近での採集記録

種 名	採集年月日 期 間	1 9 5 4 2 ~ 3, V 半 日	1 9 5 6 3 ~ 5, V 3 日	1 9 6 5 2 ~ 5, V 3 日	1 9 6 9 4, V 1 日
ヒヤマコブハナ			1		
アマギカラカネハナ		3	1		
キバネニセハムシハナ		30 以上	80 以上	約 5	
ピックニセハムシハナ		8	64		
ヒナルリハナ		30 以上	50 以上	約 20	1
アマギキベリクロヒメハナ		2	19		
ヒメハナ			1		
ナガバヒメハナ		約 20	約 30		
セスジヒメハナ		約 5	約 5		
フタオビノミハナ		30 以上	50 以上	約 20	
ヘリウスハナ			1		
カエデノヘリグロハナ		1	4		
コジマヒゲナガコバネ スギ			1		
ヒメスギ			2*	1*	3*
ヒメクロトラ		20 以上	40 以上	約 5	
トゲヒゲトラ		20 以上	40 以上		
シロトラ			約 15		
トガリバアカネトラ			3		
スギノアカネトラ			2	3	
タテスジゴマフ アトモンサビ			1 約 10		
ナカジロサビ				約 5*	
カツコウ		1*			
クロニセリンゴ			1*		
計 種 類		13	22	8	2
概 略 頭 数		150 以上	400 以上	約 70	4
天 候		2 日, 11 時 ~ 14 時頃までうす曇, 後小雨 3 日, 雨で一日中採集中止	3 日間 晴	5 月 3 日は, 大雨で採集中止	うす曇
環 境		カエデの花満開	カエデの花満開	広場の大きなカエデおよびその付近の木が伐採 バス道路のカエデもなし, 川沿のカエデの花, 満開	川沿のカエデやその他の木もすべて伐採

* カエデの花上以外の場所での採集。

新天城トンネルが数年前開通した事により、水生地下から寒天までの間は再び静かさを取り戻した感があるので、あと十数年も経てばまた好集地になるのではないかと期待している。

ii) 水生地付近

水生地のバス停留所から八巻林道までの斜面はかつては鬱蒼たる原生林であったが、1952年頃から伐採が開始され、約3年間でここに生じていた大木は全部伐り倒されて運ばれてしまった。しかしこの時期には斜面に放置されていた倒木や貯木場でアマギカラカネハナ、キンケトラ、シラホシキクスイ、ヒゲナガシラホシなど多数の種類が採集された。次の約3年間は取り残された小さな枯木、枯枝より小型のカミキリが沢山採れた。水生地の高木氏の小屋に宿泊させて載き、ここを根拠地として採集したのは、1953年から4年間で、水生地の最盛期であり、天城山の採集記録の大部分がこの時代に出来上った。この頃は1日で最高35種のカミキリが採集されたが、南アルプスや奥日光での1日約50種には劣るが、これだけ採集出来る所はそう多くない。1957年に主として水生地付近でのカミキリを纏めて発表したが137種を数えた。その後15年間に追加されたのは45種である。

小屋付近での主な採集記録は、トゲムネアラゲの原記載以来2頭目のものがそだの叩網で得られ、当時は殆んど採集記録のなかったヒゲナガヒメリがアブラチャンの枯枝より4頭小比賀氏によって採集されたことなどが著名である。またミズキの枯枝から一度にアマギカラカネハナ20頭、クモノスモンサビ5頭が採集されたこともあり、アマギアマチアからホソリングが2頭、カッコウ1頭、ドウボソ多数が採れ、アカメガシワの枯木からトラフホソバネが4、5頭などがある。

伐採や台風の結果1958年以後はすっかり開けてしまい採集地としては不適当となり、面白い採集記録もなくなってしまった、幸か不幸か八巻林道との間の傾面のスギなどの針葉樹の植林が余り成功せず、この地帯が再び広葉樹の二次林として生長しつつあるので、あと十数年も経てば好採集地に戻るかも知れない。

iii) 藤ヶ沢径路

水生地に流れ込む2本の沢の中、本谷の方は全部伐採されてしまったが、藤ヶ沢沿いに八巻林道まで通じる藤ヶ沢径路の付近は伐採されず原生林として残されているので、この地域は今でも割合に良い。5月末にオオモミジ?の花上でハナカミキリ類が、初夏からは枯木よりハスオビヒゲナガ、マルバネコブヒゲ、ゴイシモモト、クビジロなどが採集された。

(iv) 八巻林道

天城峠から八丁池へのハイキングコースの一部の平坦な所を言うが、以前は八丁池に向って左側の水生地方向の北側斜面が、前述のように原生林であったので、当時は今よりもずっと良い採集地であった。ウシコロシの花上で、1954~5年頃は非常に珍しかったヘリウスハナやヘリグロホソハナが採集された。その後北側が伐採された後も右側の高地の方に原生林が残されたので、今でもかなり良い採集地であるが、もし自動車道路の建設の為にこの尾根筋が切られてしまったら、ここも全く駄目になるであろう。ここ10年間にこの地域での主な採集は飛翔中のトガリバホソコバネ、天城峠頂上付近の枯枝からクリイロシラホシなどがある。

(v) 白田営林署事業所付近

昔はこの事業所まで白田からバスが通じており、標高600m位の所の沢のタンナサワフタギの花上で、1954年高木隆、武下雅文氏により7頭のヘリグロホソハナやヘリウスハナが採集された。特に前者は徳島県旭丸山で採集された♀で記載されたばかりの種で、♂は始めてここで採集され、これが元で新属 *Ohbayashia* が設立された。しかし此処も伐採と狩野川台風で荒され、また事業所も廃止されたので、最近には全く採集記録がない。

(vi) 寒天林道

寒天橋から沢沿いに登り向峠で八巻林道にぶつかる道は、1955年頃までは細い巾50cmぐらゐの山道で、フチグロチャバネリングが飛んだり、ゴトウヅルの枯づるよりムネモンヤツボシが採集されたりしていたが、今は八丁池近くまでスーパー林道が建設され大きく変化してしまった。下の方は期待できないが上部のブナ帯中の道は原生林の中を通っているので、現在でも良い採集地の一つに入れることが出来るであろう。渡辺

弘文氏により1959年、この林道でケブトハナやエゾトゲムネなどが採集されたことがある。

(vii) 天城峠から西の方の猿山を経て長九郎山への尾根筋はブナーカシ林であり、また三蓋山から猫越峠の方へかけてはツゲの林やブナ林の原生林が残っている。良い採集地とは思うがカミキリの調査には全く入っていないので不明である。この地域も現在伐採が盛んに行われているので、早く入らねば駄目になるだろうと思われ、今後一番調査が必要な地域である。

4) 温帯林(ブナーミズナラ林帯) (標高約1000m~1400m), D帯と略す。

伊豆の植物相の専門書によると、¹⁹⁻²⁰⁾ブナ林は伊豆半島では800 mぐらいいから生じており、ブナ林帯とは八巻林道から上部を指すようになっている。しかし八巻林道でのカミキリは水生地や藤ノ沢径路のものと同じものが多く、また八巻林道ではこれから上部に比べるとブナの木はずつと少ないように思われるので、ここまですを中間帯林に含めた都合上、この文では標高1000m以上を温帯林とした。

八巻林道より高い地帯、即ち八丁池まで行く途中の林(寒天林道も同様)、八丁池、万三郎岳、万二郎岳、遠笠山という伊豆半島の屋根に当る地帯をいう。(第1図参照)

この地帯は高木ではブナとヒメシアラ、灌木ではタンナサワフタギが多く、カミキリの寄生植物としても、これらが最も重要な植物である。ブナの純林に近いのは万三郎岳の付近ぐらいいで、その他はブナが主体で木はだの茶褐色のヒメシアラが混じているか、逆にヒメシアラが主でブナがまじっている林が多い。これらの林に5月 始め頃咲くマメザクラ、カエデ類、リョウブ、ミズキ、イヌシデ、ホオノキなどが混じている。灌木ではタンナサワフタギ以外ではアブラチャン、ミヤマガマズミ、クロモジ、シャクナゲやサラサドウダンなどのツツジ類、アセビなどが目につく。これら灌木中特に密生した林をなしているのは、八巻林道から八丁池へ行く途中のタンナサワフタギの林と、現在はゴルフ場になって消滅してしまったが、万二郎岳と四ツ辻間にあったアセビの純林、楠立付近のシャクナゲの林などである。

この地帯は地上にはアマギザサが密生している所が多く、このササの間に横たわっている大きなブナの倒木には、セダカコブヤハズが良く着いており、またオオホソコバネ、クロホソコバネのような稀種をはじめコバネ、タテスジゴマフ、ゴマダラモモブト、ヒゲナガシラホシなどが採集されている。なおクロホソコバネは万二郎岳頂上でも得られている。

灌木では1966年にタンナサワフタギがトガリバホソコバネなどの寄生植物であることが判明して以来、この林が急に重視されるようになった(第5表参照)、注意して調べるとタンナサワフタギの生木の根元近くや、倒木にトガリバホソコバネが止っていたり、またこの花上でヘリグロホソハナやヘリウスハナが採集出来る。

前述のようなブナやヒメシアラの高木林は日の当らぬ場所なので、花上の採集はほとんど期待出来ないが、灌木林や八丁池のように開けた所では、6月末のタンナサワフタギや7月下旬から8月上旬のノリウツギの花にカミキリが集まる。例えば八丁池のノリウツギの花上で、ジャコウハナやアオバホソハナなどが採集されたことがある。この地帯での主な採集地について述べて見る。

(i) 御幸径路

八巻林道から別れて急坂となる地点から、八丁池周辺の少し池より高くなっている所までの間の地帯を第6表の目録中では御幸径路とした。なお白砂径路および野畔径路の八巻林道より上部や寒天林道の八丁池近くの道すじもこれに含めた。この間にはタンナサワフタギの純林があるし、原生林に近い林としては白砂径路上部の沢沿いの所や、寒天林道の八丁池に近い所などに残っており、現在の標準では良い採集地といえる。

(ii) 八丁池付近

かつてはモリアオガエルの棲息地として有名で、6月中、下旬には湖の近くの木に真白に花が咲いたように、白い泡状の卵塊が着いていたが、キャンプ地として開発されて後はほとんど見られなくなった。前述のように花上に集まるカミキリも最近是非常に減少してしまった。しかし八丁池の宿泊所付近から白田峠までの間の原生林中には倒木や枯木が多く、これよりセダカコブヤハズなどのカミキリが得られる。この付近は

自然が残っているという点で、まあ好採集地の一つに数えることが出来る。

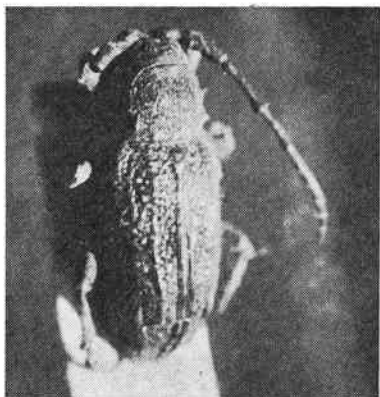
(iii) 遠 笠 山

八丁池付近と全く対照的なのが遠笠山付近である。国立公園内にゴルフ場を作るという暴挙のために、1962年頃から四ツ辻付近のアセビの純林が切られ出した。最初はゴルフ場の規模が余り大きくなかったので周囲に原生林が残っており、また中央部が切り開かれたのでその周辺では枯れ出す木もあり、1969年頃までは種々のカミキリが採集された。

その後ゴルフ場の拡大によりこの原生林は総て伐採されてしまい、もはやカミキリの生息は不可能といえるだろう。ここで約8年間に発見された約40種のカミキリ中、今後はその殆も姿を見る事は出来ないのではないだろうか。かつてはこんなにすばらしい所であったという悲しい記録の1つとして、小宮次郎氏が遠笠山から採集したタンナサワフタギの枯木より羽化したカミキリの種類を第5表に示した。

(iv) そ の 他

八丁池に宿泊所が出来たので、ここを根拠地とすれば、今まで時間的な制約のために余り調査出来なかった万三郎、万二郎岳付近のカミキリ相も解明されやすくなった。ここではもっと *Necydalis* が採れてよいように思われる。



アトモンサビカミキリの Holotype (モスクワ大学・動物学博物館所蔵)。

第 5 表

タンナサワフタギより羽化したカミキリ

種 名	個 体 数
ヘリグロホソハナ	+
ヘリウスハナ	+
ヤツボシハナ	+
ヨツスジハナ	+
ニンフホソハナ	+
アオバホソハナ*	(九州の九重山)
ジャコウホソハナ	+
ホソハナ	+
トガリバホソコバネ	+
ヤハズ**	+
マルバネコブヒゲ	+
チビコブ	+

* 九州の九重山の材から羽化

** 衣笠恵士氏の記録

その他は総て遠笠山の枯木からの小宮次郎氏の記録

Ⅳ カ ミ キ リ の 種 類

1) 天城山を中心とした伊豆半島のカミキリ目録 (第6表)

第6表に現在 (1973年3月末) までに採集されたカミキリの種類とその記録を示した。"採集記録" としたのは筆者が知っているその種についての総ての記録であり、"採集例" としたのは普通種や余り珍らしい種について、多数の採集記録中主としてその標本が存在している幾つかの例を選んで示したものである。採集者は () の中に苗字を記入し、同姓のあるもの、長いものには次の略語を使用した。その他は第1表を参照して欲しい。小: 小比賀正敬, 中村: 中村俊彦, 鈴木: 鈴木和利。

採集者と標本の所蔵者の違う場合は、"高木一草間所蔵" のように先に採集者、後に所有者を示した。成虫の採集記録ではなく、枯木や材から羽化した例は { } で示した。

第 6 表

天城山を中心とした伊豆半島のカミキリ目録

カミキリ科 Family CERAMBYCIDAE

I のこぎりかみきり亜科 Subfamily Prioninae

Tribe Eurypodini

1. *Eurypoda* (*Neoprion*) *batesi* GAHAN ベーツヒラタカミキリ

7～8月, A帯(下田, 河津浜)の灯火に飛来する, 少ない。幼虫はシイ, ムクノキ, クス科植物などの枯死部, 衰弱部に寄生する。採集例: 下田, 3. viii. 1954 (小), 6. viii. 1967 (中村), 10. viii. 1972 (山上), 河津浜, 8. viii. 1969 (倉形⁸⁾)

Tribe Megopidini

2. *Megopis* (*Aegosoma*) *sinica* (WHITE) ウ斯巴カミキリ

6～8月, B帯(与市阪, 湯ヶ野), C帯(水生地) 夜間材木に集まる, 少ない。幼虫はヤナギ科, ブナ科などの植物の枯木や枯死部に寄生する。採集例: 与市阪, 20. vi. 1963 (高木—草間所蔵), 湯ヶ野, 13. vii. 1955 (高木—露木所蔵), 水生地, vii. 1954 (高木)

Tribe Prionini

3. *Prionus insularis* MOTSCHULSKY ノコギリカミキリ

6～8月, B帯(野畔), C帯(水生地), D帯(八丁池) 夕方飛翔中のものを採る場合が多い, 普通。幼虫は, 針葉樹(スギ, ヒノキ, アカマツ, モミなど)と広葉樹(ブナ科, ニレ科など)に寄生する。採集例: 野畔, 22. vii. 1966 (草間), 水生地, 31. vii. 1954, 3頭(小), 17. vii. 1955 (露木), 八丁池, 10. viii. 1971, 3頭(中村)

4. *P. sejunctus* HAYASHI ニセノコギリカミキリ

6～8月, A帯(下田), B帯(野畔) 灯火に飛来する。あまり多くない。採集例: 野畔, 22. vii. 1966 (草間)

Tribe Anacolini

5. *Psephactus remiger* HAROLD コパネノコギリカミキリ

6～8月, C帯(与市阪 径路, 水生地), D帯(八丁池) 夕刻 飛翔し, ブナの倒木につく, 少ない。幼虫はブナ, ミズナラ, シナノキなどの枯木に寄生。採集例: 水生地, 16. vii. 1955 (柴田), 5. viii. 1955 (露木), 与市阪径路, 20. vi. 1963 (草間), 八丁池, 7. vii. 1960 (小)

II くろかみきり亜科 Subfamily Spondylinae

Tribe Spondylini

6. *Spondylis buprestoides* (LINNÉ)

6～9月, B帯(湯ヶ島, 浄蓮) など, 主に灯火に飛来する, マツの伐採木上, 多い。幼虫はクロマツ, アカマツ, スギ, ヒノキなど針葉樹の枯木, 枯枝に寄生する。採集例: 大滝, 28. vii. 1967 (草間)

III ひらたかみきり亜科 Subfamily Aseminae

Tribe Asemini

7. *Cephalallus unicolor* (GAHAN) ツシマムナクボカミキリ

8～9月, A帯(下田), D帯(遠笠山)の灯火に飛来, マツの枯枝につく, 少ない。採集例: 下田, 6. viii. 1954 (小), 9. viii. 1968 (山上), 遠笠山, 4. viii. 1963 (マツの枯枝) (小宮)

8. *Arhopalus rusticus* (LINNÉ) サビカミキリ

8～9月, B帯(浄蓮, 天城ロッジ), C帯(大室山), D帯(遠笠山) 灯火に飛来, マツの枯枝, 少ない。幼虫はクロマツ, アカマツ, スギ, ヒノキなどの針葉樹に寄生。採集例: 浄蓮, ix. 1957 (高木),

天城ロッジ, 22. viii. 1965(松本), 大室山, 6. ix. 1967 (小倉一露木所蔵), 遠笠山, 4. v. 1963 (マツの枯枝) (小宮), x. 1966 (マツの枯木の樹皮下) (中村)

9. *Megasemum quadricostulatum* KRAATZ オオクロカミキリ

8~9月, D帯(遠笠山)で数頭の死体を拾った1例のみ。幼虫はモミ, ウラジロモミなどの枯木に寄生。
採集記録: 遠笠山, 18. vii. 1967 (死体) (衣笠)

Ⅳ ほそかみきり亜科 Subfamily Disteninae

Tribe Disteniini

10. *Distenia gracilis* (BLESSIG) ホソカミキリ

7~9月, B帯(湯ヶ島, 猫越), C帯(水生地), D帯(遠笠山)主に灯火に飛来, 余り多くない。幼虫は, 針葉樹(クロマツ, アカマツ), 広葉樹(クスギ, クリ, ミズナラ, シナノキなど)の枯木, 枯枝やツルウメモドキの枯づるに寄生。採集例: 湯ヶ島, 28. vii. 1967, 3頭(草間), 猫越, 7. ix. 1971(山上), 水生地, 15. vii. 1955(露木), {遠笠山より採取のツルウメモドキの枯づるより, 11. vi. 1968 羽化(木村)}

Ⅴ はなかみきり亜科 Subfamily Lepturinae

Tribe Xylosteini

11. *Caraphia (Neosalpinia) lepturoides* (MATSUSHITA) ケブトハナカミキリ

7月, B帯(大滝温泉)の天城荘の灯火に飛来, C帯(寒天林道)の2例のみ。幼虫はクサギの生木の枯死部に寄生する。A, B帯で今後もっと採集されると思う。採集記録: 寒天林道, 28. vii. 1959 (渡辺弘之)

Tribe Encyclopini

12. *Encyclops olivacea* BATES テツイロハナカミキリ

6月, C帯(水生地)ゴトウヅルの花上での1例のみ。採集記録: 水生地, 15. vi. 1953 (草間)

Tribe Rhagiini

13. *Enoploderes bicolor* OHBAYASHI ヒラヤマコブハナカミキリ

5月, B帯(浄蓮ノ滝), C帯(大川端)の2例のみ。採集記録: 浄蓮ノ滝, 9. v. 1962 (加藤晃), 大川端, 4. v. 1956 (イロハモミジの花上) (手束喜洋—草間所蔵)

Tribe Stenocorini

14. *Stenocorus caeruleipennis* (BATES) フタコブルリハナカミキリ

6~7月, C帯(水生地, 八巻林道)のゴトウヅルなどの花上, 稀。採集記録: 水生地, 4. vi. 1949 (新堀豊彦), 5. vii. 1970 (露木), 八巻林道, 15. vii. 1950 (久松⁵⁾)

15. *Gaurotes (Paragaurotes) doris amagisana* OHBAYASHI アマガカラカネハナカミキリ

5~7月, C帯(大川端, 水生地, 八巻林道)主にミズキの枯木, 稀にカエデの花上, 余り多くない。幼虫はミズキの枯木に寄生する。採集例: 大川端(カエデの花上) 2. v. 1954 (露木), 5. v. 1955 (草間), 3. v. 1961 (中村), 水生地(主にミズキの枯木), 14. vi. 1953 (草間), 16. vi. 1953 (小), 19. vii. 1954 (露木), 21. v. 1956 (草間), 22. v. 1956, 8頭(露木), 八巻林道, 15. vi. 1957, 2頭(露木), 3. vii. 1960, 15頭(小), 11. vi. 1961. 6頭(木村)。

16. *Lemula decipiens* BATES キバネニセハムシハナカミキリ

4~6月, B帯(猫越, 宮ノ原), C帯(大川端, 水生地, 八巻林道), D帯(御幸径路)のカエデ類, ゴトウヅルなどの花上, 多い。(第4表参照) 幼虫はミズキの枯木に寄生する。採集例: 猫越, 5. v. 1969 (草間), 宮ノ原, 7. v. 1962 (小林), 大川端, 2. v. 1954 (露木), 3. v. 1954, 10頭(草間, 露木), 5. v. 1955 (草間), 4. v. 1966 (郡山), 八巻林道, 15. vi. 1953 (草間), 26. iv. 1970 (待山)

17. *L. rufithorax* PIC ピックニセハムシハナカミキリ

4～6月, B帯(猫越, 宮ノ原), C帯(大川端, 水生地, 八巻林道), D帯(御幸径路)のカエデ類の花上, 5. v. 1955に大川端のカエデの花上で37頭採集されたのが, 1日間の採集では一番多い記録である。1958年頃までは割合に多く花上に集合していたが, 天城山系では, その後激減した。(第4表参照)
採集例: 猫越, 5. v. 1969(草間), 宮ノ原, 7. v. 1972, 4頭(小林), 大川端, 3. v. 1961(中村) 水生地, 4. vi. 1949(小), 10. iv. 1957, 4頭(小), 3. v. 1958, 2頭(小), 11. vi. 1961(木村)

18. *Acmaeops (Dinoptera) minuta* (GEBLER) ヒナルリハナカミキリ

4～6月, B帯(猫越), C帯(大川端, 水生地, 八巻林道), D帯(御幸径路)のカエデ類, ウシコロシ, ゴトウヅルなどの花上に多い。採集例: 猫越, 5. v. 1969(草間), 大川端, 2. v. 1954(露木, 草間), 5. v. 1955(草間), 5. v. 1955(木村), 八巻林道, 26. iv. 1970(待山)

19. *Pidonia (Pidonia) discoidalis amagisana* HAYASHI アマギキベリクロヒメハナカミキリ

4～7月, 天城山を原産地とする亜種, B帯(猫越, 宮ノ原), C帯(大川端, 水生地, 八巻林道), D帯(遠笠山)などの花上に普通。採集例: 猫越, 5. v. 1969(草間), 宮ノ原, 7. v. 1972, 6頭(小林), 大川端, 2. v. 1954, 2頭(露木, 草間), 5. v. 1955, 2頭(草間), 水生地, 4. vi. 1949(小), 8. vi. 1951, 2頭(小), 14～16. vi. 1953, 4頭(小), 2頭(草間), 1. vi. 1958(木村), {遠笠山から採取のゴトウヅルの枯づるより 16. iv. 1967, 羽化(木村)}

20. *P. (P.) grallatrix* (BATES) オオヒメハナカミキリ

5～7月, C帯(八巻林道), D帯(御幸径路)のゴトウヅルなどの花上, 多い。採集例: 八巻林道, 15. vi. 1953, 7頭(小), 11. vi. 1961(小)

21. *P. (P.) maculithorax* PIC カクムネヒメハナカミキリ

6～8月, B帯(三本松, 浄蓮), C帯(水生地, 八巻林道), D帯(御幸径路)などの花上, 普通。採集例: 水生地, 10. vii. 1953(小), 11. vii. 1953(草間), 4. vi. 1956(露木)

22. *P. (P.) mutata* (BATES) ヒメハナカミキリ

5～6月, C帯(大川端, 八巻林道), D帯(御幸径路), ナガバヒメハナカミキリと混じて, ゴトウヅルなどの花上, 稀。採集記録: 大川端, 5. v. 1956(露木), 八巻林道, 20. v. 1956, 3頭(露木), 2頭(草間), 御幸径路, 上旬, vi. 1955, 2頭(高木一草間所蔵)

23. *P. (P.) signifera* (BATES) ナガバヒメハナカミキリ

4～7月, B帯(猫越, 宮ノ原), C帯(大川端, 水生地, 八巻林道), D帯(御幸径路)の花上に普通。採集例: 猫越, 12. v. 1968(木村), 宮ノ原, 7. v. 1972, 10頭(小林), 大川端, 30. iv. 1955(露木), 水生地, 4. vi. 1956(露木), 3. v. 1960, 3頭(小), 八巻林道, 11. vi. 1961, 2頭(小), 29. v. 1966, 4頭(小)

24. *P. (P.) amentata* (BATES) セスジヒメハナカミキリ

5～7月, C帯(大川端, 水生地, 八巻林道), D帯(御幸径路)の花上に普通。採集例: 大川端, 4. vi. 1956, 4頭(露木), 八巻林道, 31. v. 1964(小), 29. v. 1966(小), 5. vii. 1970(露木)

25. *P. (P.) simillima* OHBAYASHI et HAYASHI ニセヨコモンヒメハナカミキリ

4～7月, C帯(水生地, 八巻林道), D帯(御幸径路)の花上に多い。採集例: 水生地, 21. v. 1956(露木), 4. vi. 1956(露木), 八巻林道, 3. v. 1960, 3頭(露木), 29. v. 1966, 10頭(小), 御幸径路, 11. vii. 1953, 2頭(小)

26. *P. (Omphalodera) puziloi* (SOLSKY) フタオビノミハナカミキリ

4～7月, C帯(大川端, 水生地, 八巻林道), D帯(御幸径路)の花上に多い。採集例: 大川端, 2. v. 1954(露木), 5. v. 1966(木村), 八巻林道, 2. v. 1958(小), 3. v. 1960(小)

27. *P. (Mumon) debilis* (KRAATZ) チャイロヒメハナカミキリ

5～8月, C帯(大川端, 水生地, 八巻林道), D帯(御幸径路, 遠笠山)の花上に多い。採集例: 水生地, 11. vii. 1953 (小), 八巻林道, 29. v. 1966 (小), 遠笠山, 3. vii. 1966 (露木), 12. v. 1968 (木村)

Tribe Lepturini

28. *Ohbayashia nigromarginata* (HAYASHI) ヘリグロホソハナカミキリ

5～8月, C帯(白田, 八巻林道), D帯(御幸径路, 八丁池, 遠笠山)のタンナサワフタギの枯木, 枯枝, 又は花上, 本種の♂は最初に天城山で採集された。野外で成虫を見ることは少ない。幼虫はタンナサワフタギの枯枝, 枯木に寄生, 八丁池や遠笠山から採取した同植物の枯木からは多数羽化する。採集例: 八巻林道, 28. v. 1955 (ウシコロシ花上) (高木一草間所蔵), 26. vi. 1966 (草間), 遠笠山, 30. vi. 1966 (手束一草間所蔵), 3. vii. 1966, 6頭(タンナサワフタギの枯木) (露木)

29. *Pyrrhona laeticolor* BATES ヘリウスハナカミキリ

4～6月, C帯(大川端, 八巻林道), D帯(御幸径路, 八丁池, 遠笠山)のカエデ類, ウシコロシなどの花上, 少ない。幼虫はタンナサワフタギの枯木, 枯枝に寄生。八巻林道, 寒天林道, 遠笠山などの同植物より4～5月に多数羽化する。採集例: 大川端, 4. v. 1956 (イロハモミジ花上) (手束一草間所蔵), 八巻林道, 15. v. 1950 (久松), 5. v. 1957 (小), 28. iv. 1967, 2頭(手束一草間所蔵), 八丁池 11. vi. 1961 (木村), 寒天林道上部, 5. vii. 1970 (露木)

30. *Anoplodera (Pseudalosterna) misella* (BATES) チャボハナカミキリ

6～8月, B帯(猫越), C帯(水生地, 八巻林道)などの花上に普通, 他の地域ではほとんど見られない翅鞘が全部黒い黒化型を天城山には産する。採集例: 猫越, 1. vi. 1968, 2頭(木村), 20. vi. 1968 (木村), 水生地, 18. vii. 1954, 2頭(露木), 8. vii. 1955 (高木一草間所蔵), 17. vi. 1956, 2頭(小), 17. vii. 1954 (黒化型) (露木)

31. *A. (Anoploderomorpha) excavata* (BATES) ミヤマクロハナカミキリ

6～7月, C帯(水生地, 八巻林道), 花上, やや少ない。採集例: 八巻林道, 9. vii. 1953, 2頭(小)

32. *A. (Anastrangalia) scotodes* (BATES) ツヤケシハナカミキリ

6～7月, B帯(浄蓮), C帯(水生地)などの花上に普通, 幼虫はアカマツ, クロマツなどマツ類の枯木, 枯枝に寄生。採集例: 水生地, 14. vi. 1953 (草間), 4. vi. 1956 (露木)

33. *Leptura (Leptura) aethiops dimorpha* BATES ムネアカクロハナカミキリ

5～6月, B帯(一碧湖), C帯(水生地), D帯(遠笠山)などの花上, 少ない。採集例: 一碧湖, 23. v. 1971 (高桑), 水生地, 20. vi. 1955 (高木一草間所蔵), 遠笠山, 18. vii. 1967 (衣笠)

34. *L. (L.) arcuata mimica* BATES ヤツボシハナカミキリ

6～7月, B帯(猫越, 浄蓮ノ滝), C帯(水生地, 八巻林道), D帯(八丁池, 遠笠山)の花上, 余り多くない。触角, 翅鞘が全部黒色の変種は現在までの所, 天城山特産。採集例: 猫越, 20. vi. 1968 (木村), 浄蓮ノ滝, 20. vi. 1953 (草間), 水生地, 13. vi. 1955 (黒化型) (露木), 17. vi. 1956 (黒化型) (草間), 八丁池, 11. vi. 1961 (木村), 遠笠山, 3. vii. 1966 (木村) {遠笠山より採取のヤシヤブシの枯枝より, 24. iv. 1967, 羽化(木村)}

35. *L. (L.) latipennis* (MATSUSHITA) ハネビロハナカミキリ

6月, B帯(浄蓮ノ滝, 与市阪), C帯(八巻林道)などで飛翔中のものや花上, 少ない。幼虫はブナ, コナラ, シラカシ, センノキ, ホオノキなどの枯木, 枯枝に寄生。採集例: 与市阪, 20. vi. 1963 (高木), 八巻林道, 15. vi. 1953 (小), 11. vi. 1961, 2頭(小, 露木)。A帯, 石廊崎, 24. v. 1973 (鈴木)

36. *L. (L.) ochraceofasciata* (MOTSCHULSKY) ヨツスジハナカミキリ

6～8月, B帯(猫越), C帯(水生地, 八巻林道), D帯(遠笠山)などの花上, 普通。採集例: 猫越, 7. viii. 1966 (露木), 16. vii. 1967 (木村), 水生地, 9. vii. 1953 (草間), 10. vii. 1953 (小), 31. vii. 1954, 2頭(小), 八巻林道, 7. viii. 1960 (露木), 8. viii. 1960 (小), 遠笠山, 26. vii. 1967

(小), {遠笠山より採集のヤシヤブシの枯枝より, 19. v. 1967. 羽化(木村)}

37. *L. (L.) subtilis* BATES ヤマトヨツスジハナカミキリ

8月, D帯(遠笠山)のノリウツギの花上の1例のみ。採集記録: 6. viii. 1962 (小宮)

38. *L. (Nakanea) vicaria adumbrata* BATES ハススジハナカミキリ

6~8月, B帯(浄蓮ノ滝), C帯(水生地)では少ないが, D帯(遠笠山)では普通。採集例: 浄蓮ノ滝, 17. vi. 1956 (草間), 水生地, 10. vii. 1953 (草間), 18. vii. 1954 (露木), 1. viii. 1954, 2頭, (高木-草間所蔵), 1頭(小), 24. vi. 1955 (露木), 3. vii. 1955 (高木-草間所蔵), 19. vii. 1955 (露木), 遠笠山, 4. viii. 1963, 8頭(木村), 26. vii. 1969, 17頭(小)

39. *L. (Megaleptura) regalis* (BATES) オオヨツスジハナカミキリ

7~8月, B帯(野畔, 猫越), C帯(水生地)のリョウブの花上, 稀。幼虫はクロマツ, アカマシなどマツ類, ツガ, モミなどの枯木, 枯枝に寄生。採集記録: 野畔, 22. vii. 1966 (草間), 猫越, 7. viii. 1966, 2頭(露木, 木村), 水生地, 8. viii. 1960 (小)

40. *Eustrangalis distenoides* BATES カエデノヘリグロハナカミキリ

5月, C帯(大川端, 水生地) 1954~56年にかけて5月上旬大川端付近のカエデの花上で5頭採集されたが, 当時においてはこれらの記録は本州では原記載(1884年)以来数頭目のもので, また本州最南端の採集地であった。その後は1頭のみ。幼虫はイタヤカエデ, コシアブラなどの枯木に寄生。採集記録: 大川端, 2. v. 1954 (露木), 3. v. 1956 (東京農大生), 4. v. 1956, 2頭(服部仁, 他), 5. v. 1956 (草間-小比賀所蔵), 水生地, 9. v. 1971 (高橋勝)

41. *Japanostrangalia dentatipennis* (PIC) ヒゲジロハナカミキリ

7月, C帯(水生地), D帯(遠笠山)の花上, 稀。採集記録: 水生地, 18. vii. 1955 (柴田 泰利), 遠笠山, 26. vii. 1969 (小), {遠笠山より採集の材から羽化, v. 1972 (伊藤正雄)}

42. *Strangalomorpha tenuis* SOLSKY アオバホソハナカミキリ

4~7月, C帯(水生地, 八巻林道), D帯(遠笠山)の花上, やや少ない。幼虫はサワフタギ, ヒメシヤラの枯枝に寄生。採集例: 水生地, 11. vii. 1953, 3頭(小), 遠笠山, 3. vii. 1966 (木村)

43. *Parastrangalis lesnei* (PIC) ニョウホウホソハナカミキリ

6~8月, C帯(水生地, 八巻林道), D帯(御幸径路, 八丁池)などの花上に普通。幼虫はモミに寄生。採集例: 水生地, 11. vii. 1953, 3頭(小), 遠笠山, 3. vii. 1966 (木村)

44. *P. nymphula* (BATES) ニンフホソハナカミキリ

6~8月, C帯(水生地, 八巻林道), D帯(御幸径路, 遠笠山)の花上に普通。幼虫はコナラ, ツガ, アセビの枯木や材より羽化。採集例: 水生地, 8. vi. 1951 (小), 2. vii. 1951 (小), 6. vii. 1952. (小), 15. vi. 1953 (草間), 17. vii. 1954 (露木), 八巻林道, 7. viii. 1960, 3頭(小), 2. vi. 1957 (木村), {遠笠山より採取のタンナサワフタギの枯枝より羽化(小宮)}

45. *P. shikokensis* (MATSUSHITA) タテジマホソハナカミキリ

6~7月, C帯(水生地), D帯(八丁池, 遠笠山)などの花上, 少ない。幼虫はヤマザクラに寄生。採集例: 水生地, 6. vii. 1952 (小), 12. vii. 1953 (草間), 27. vii. 1953 (高木-草間所蔵), 17. vii. 1954, 2頭(露木), 八丁池, 10. viii. 1971 (中村), 遠笠山, 26. vii. 1969 (小), 17. vii. 1966 (木村)

46. *Strangalia (Mimostrangalia) dulcis* BATES ジャコウホソハナカミキリ

7~8月, B帯(猫越), C帯(八巻林道), D帯(八丁池, 遠笠山)などの花上で成虫は採集されるが, 少ない。幼虫の寄生植物はタンナサワフタギ, リョウブ, サクラなどで, これらの枯木, 枯枝からはかなり羽化する。採集例: 八丁池, 10. vii. 1956, 遠笠山, 6. viii. 1962, 2頭(小宮), {猫越から採集のサクラの枯木より, 29. iv. 1968, 羽化(木村)}, {八丁池付近のタンナサワフタギの枯木より, 10. v. 1972 に羽化, (草間)}, {遠笠山のリョウブの枯木より, 21~23. v. 1967, 2頭羽化(木村)}

47. *S. (Idiostrangalia) contracta* BATES ミヤマホソハナカミキリ

6～8月, C帯(水生地, 八巻林道), D帯(御幸径路, 八丁池)などの花上に普通。採集例: 水生地, 10. vii. 1950 (小), 2. vii. 1952 (小—草間所蔵), 10～12. vii. 1953, 3頭(草間), 18. vii. 1954 (露木), 八巻林道, 17. vii. 1957, 3頭(露木), 3. viii. 1960 (小), 7. viii. 1960 (小), 26. vi. 1966 (小), 10. vii. 1970 (松本)

48. *S. (I.) hakonensis* MATSUSHITA ハコネホソハナカミキリ

7～8月, C帯(八巻林道)の花上, 少ない。採集例: 八巻林道, 28. vii. 1963 (草間)

49. *S. (Leptostrangalia) hosohana* OHBAYASHI ホソハナカミキリ

6～8月, C帯(水生地, 八巻林道), D帯(八丁池, 遠笠山)などの花上, あまり多くない。幼虫はタンナサワフタギに寄生, この枯木, 枯枝からは, かなり羽化する。採集例: 水生地, 11. vii. 1953 (草間), 15. vi. 1957 (露木), 八巻林道, 7. viii. 1960, 3頭(小), 11. vi. 1961, 3頭(小), 10. vii. 1970 (松本), {八丁池付近で採集のタンナサワフタギの枯木より, 14. vi. 1972, 羽化(草間)}, {遠笠山のタンナサワフタギの枯木より, v. 1967, 羽化(木村)}

Tribe Eroschemini

50. *Corennys sericata* BATES キヌツヤカミキリ

6～8月, C帯(水生地, 八巻林道)などの花上, 少ない。幼虫はブナ, ヤナギの枯木, 枯枝に寄生。採集例: 水生地, 22. vii. 1955 (高木), vi. 1955 (高木)

Tribe Necydalini

51. *Necydalis (Necydalisca) harmandi* PIC クロホソコバネカミキリ

7～8月, D帯(御幸径路, 八丁池付近, 万二郎岳頂上)での3頭のみ。採集記録: 御幸径路, vii. 1956 ブナ?の倒木上(高木), 4. viii. 1963, 万二郎岳頂上に飛来(露木), {八丁池付近のミズナラ?の枯枝より, 14. vi. 1972, 羽化(草間)}

52. *N. (N.) solida* BATES オオホソコバネカミキリ

7月, D帯(御幸径路)の1記録のみ。幼虫はブナの朽木に寄生。採集記録: 御幸径路, 下旬, vii. 1955, ブナの倒木上(山崎秀雄)

53. *N. (Eonecydalis) formosana niimurai* HAYASHI トガリバホソコバネカミキリ

5～7月, C帯(八巻林道), D帯(八丁池, 遠笠山)で得られるが, 成虫を見る事は少ない(1回の例外あり)。タンナサワフタギの伐採木, 立ち枯れの地上10cm位の所で得られる。幼虫の寄生植物が1966年タンナサワフタギと判明後は¹⁶⁾, 御幸径路, 寒天林道, 八丁池, 遠笠山などの同植物の枯木, 枯枝より, 5～6月に多数羽化する(本文参照)。採集例: 八巻林道, 26. vi. 1966 (小), 10. vii. 1970 (松本), 遠笠山, 3. vii. 1966, 4頭(露木, 田中, 手束), 10. vii. 1966, 約100頭, タンナサワフタギの伐採木(小宮, 木村, 田中, 手束), 17. vii. 1966 (木村)

V か み き り 亜 科 Subfamily Cerambycinae

Tribe Methini

54. *Xystrocera globosa* (OLIVIER) アオスジカミキリ

7～8月, A帯(下田, 河津浜, 城ヶ崎海岸), B帯(湯ヶ島, 七滝, 湯ヶ野, 河津)などの灯火に飛来。少ない。幼虫の寄生植物がネムノキであるので, 同植物から成虫も得られる。採集例: 下田, 8. viii. 1954, 2頭(小), 7. viii. 1968 (山上), 河津浜, 8. viii. 1969 (倉形⁸⁾), 河津, 27. vii. 1955 (高木—草間所蔵), 5. viii. 1955 (高木—露木所蔵)

Tribe Cerambycini

55. *Massicus raddei* (BLESSIG) ミヤマカミキリ

7～8月, A帯(下田, 雲見海岸)などの灯火やクヌギの樹幹, やゝ少ない。幼虫はブナ科植物の枯木な

どに寄生。採集例：下田，6～10. viii. 1968，5頭（山上），雲見海岸，30. vii. 1965（草間）

56. *Aeolesthes (Pseudaolesthes) chrysothrix* (BATES) キマダラカミキリ

5月，A帯（大瀬崎，下田）もつと採集されてよい種である。幼虫は主にブナ科植物の枯木に寄生。採集記録：大瀬崎，30. v. 1971，トベラの花上（木村），下田，27. vi. 28. vi. 1970，2頭（山上）

Tribe Phoracanthini

57. *Allotraeus (Allotraeus) spaerioninus* BATES トビイロカミキリ

5～7月，C帯（水生地，八巻林道），D帯（御幸径路，遠笠山）などのゴトウヅルその他花上に多い。幼虫はヒメシャラ，アブラチャン，カゴノキなどの枯木，枯枝に寄生。採集例：水生地，15. vi. 1953，23頭（小，草間），3. vi. 1960（小），八巻林道，11. vi. 1961，4頭（木村），11. vi. 1972（松本），遠笠山，4. viii. 1963（木村）

Tribe Callidiopini

58. *Stenygrinum quadrinotatum* BATES ヨツボシカミキリ

4～6月，A帯（下田），B帯（湯ヶ島）の花上，普通種であるが，末だ伊豆での採集例は少ない。幼虫はクリ，クヌギなどの枯木，枯枝に寄生。採集例：下田，2～6. vi. 1952，3頭（小），湯ヶ島，iv. 1958（高木）

59. *Stenodryas clavigera* BATES アメイロカミキリ

5～6月，A帯（下田，大瀬崎），B帯（浄蓮），C帯（水生地）のクリ，ゴトウヅルの花上，少ない。採集例：下田，30. vi. 1970，2頭（山上），大瀬崎，30. v. 1971，2頭（木村），水生地，8. vi. 1951（小）。石廊崎，24. v. 1973，8. vi. 1974（鈴木）

60. *Ceresium holophaeum* BATES ヨコヤマヒメカミキリ

7月，A帯（下田）の2記録のみ。幼虫はウバメガシの枯枝に寄生。採集記録：下田，3. vii. 1970，伐採木上，（米川一池田清彦所蔵），9. vii. 1968（峰）

61. *C. longicorne* PIC ヒゲナガヒメカミキリ

4～7月，11月，A帯（下田，石廊崎），C帯（大川端）で得られているが稀。幼虫はコナラ，ウバメガシ，オオバヤシャブシ，ミカン類の枯木，枯枝に寄生。採集記録：大川端，xi. 1964，2頭，スギの倒木（高木一草間所蔵），下田，3. vi. 1966（佐藤勝信），13. vi. 1967，（山上），3. vii. 1970（米川），〔石廊崎のスダジイの枯枝より15. vi. 1969，羽化（木村），同所のコナラ，オオバヤシャブシ，ウバメガシの枯木より，6月上旬～7月上旬，1969，羽化（木村）〕

Tribe Oabriini

62. *Stenhomalus cleroides* BATES カッコウメダカカミキリ

5月，A帯（大瀬崎）現在1採集記録のみ。幼虫はクリ，クヌギ，イヌビワ，タマアジサイなどの枯木やフジ，アケビ，ノブドウなどの枯づるに寄生。採集記録：大瀬崎，30. v. 1971，3頭（木村，露木）

63. *S. lighti* GRESSITT トワダムモンメダカカミキリ

6月，C帯（水生地）3採集記録のみ。幼虫はキブシ，アブラチャンの枯枝に寄生。採集記録：天城山，4. vi. 1949（真田氏），⁴⁰水生地，12. vi. 1966（露木），18. v. 1973（斎藤秀生）

64. *S. taiwanus* MATSUSHITA タイワンメダカカミキリ

8月，A帯（河津，石廊崎）。幼虫はイヌザンショウの枯枝に寄生。採集記録：河津，3. viii. 1959（高木）灯火に飛来。石廊崎，23. v. 1973，8. vi. 1974（鈴木）

Tribe Molorchini

65. *Molorchus kojimai* MATSUSHITA コジマヒゲナガコバネカミキリ

5～6月，B帯（杉本），C帯（大川端，水生地）カエデなどの花上，少ない。幼虫はミズキ，キブシなどの枯木，枯枝に寄生。採集例：大川端，5. v. 1955（草間），5. v. 1956（草間），水生地，3. vi. 1951（小），3. v. 1961（中村），19. v. 1963（露木）

Tribe Thraniini66. *Thranius variegatus* BATES トラフホソパネカミキリ

7～9月, B帯(猫越), C帯(水生地), アカメガシワなどの枯木上, 稀。幼虫はツブラジイ, ハルニレ, アカメガシワ, アカダモ, などの枯木, 枯枝に寄生。採集記録: 水生地, 10. vii. 1948 (小), 11. vii. 1950, 2頭, アカメガシワの枯木, 6. vii. 1952, アカメガシワの枯木 (小), 7. viii. 1960, トネリコの材(露木), 9. vii. 1961 (小), 猫越, 17. ix. 1957 (高木), 2. vii. 1967 (木村), {仁科峠のアカメガシワより羽化(衣笠)}

Tribe Pyrestini67. *Pyrestes haematicus* PASCOE クスベニカミキリ

7～8月, B帯(杉本, 猫越)花上, 稀。幼虫はクス科の枯木, 枯枝に寄生。採集記録: 杉本, 29. vii. 1967, クリの花上(草間), 猫越, 7. viii. 1966, 4頭, リョウブの花上(露木, 木村)

Tribe Callichromini68. *Chelidonium quadricolle* BATES アオカミキリ

6～7月, C帯(大川端, 水生地)花上, 稀。幼虫はサカキ, クリ, ミネバリ, イタヤカエデ, イロハカエデ, フウなどの生木に寄生。採集記録: 大川端, 9. vii. 1953 (小), 水生地, vi 1953 (高木) (何れも花上)

69. *Chloridolum (Leonitium) viride* THOMSON ミドリカミキリ

6～7月, B帯(浄蓮ノ滝), C帯(水生地, 八巻林道)などの花上に普通。幼虫はモミ, トドマツ, アカマツ, クヌギ, クリ, コナラ, ミズキなどの枯木, 枯枝に寄生。採集例: 浄蓮ノ滝, 10. vii. 1953 (草間), 水生地, 13. vi. 1953 (草間), 八巻林道, 15. vi. 1953 (草間)

Tribe Callidiini70. *Semanotus japonicus* (LACORDAIRE) スギカミキリ

4～5月, B帯(桐山), スギの倒木や切株, 少ない。幼虫はスギ, ヒノキ, サワラなどに寄生。採集例: 桐山, 27. iv. 1965 (高木), 5. v. 1965, 2頭(草間)

71. *Palaeocallidium (Callidiellum) rufipenne* (MOTSCHULSKY) ヒメスギカミキリ

4～8月, B帯(猫越, 湯ヶ島, 浄蓮ノ滝), C帯(大川端, 水生地), D帯(遠笠山)などのスギの倒木に多産。幼虫はスギ, ヒノキ, ヒバ, モミなどに寄生。採集例: 水生地, 15. vi. 1953 (草間), 4. v. 1966, 3頭(郡山), 遠笠山, 3. v. 1967 (木村)

72. *Phymatodes (Paraphymatodes) albicinctus* BATES シロオビチビヒラタカミキリ

6月, C帯(水生地), ノブドウの枯づる, 余り多くない。幼虫はノブドウ, ヤマブドウなどの枯づるに寄生。採集例: 水生地, 15. vi. 1953 (草間)

73. *P. (Poecilium) maaki* (KRAATZ) アカネカミキリ

5～6月, C帯(水生地), ノブドウの枯枝, 余り多くない。幼虫はノブドウ, ヤマブドウなどの枯づるに寄生。採集例: 15. vi. 1953 (草間)

Tribe Clytini74. *Xylotrechus cuneipennis* (KRAATZ) ウスイロトラカミキリ

6～9月, B帯(猫越), C帯(水生地, 八巻林道), D帯(遠笠山)などの種々の広葉樹の倒木や枯枝に普通。幼虫はブナ科, シデ類, ハンノキ類, カエデ類, ミズキなど広葉樹の枯木や林に寄生。採集例: 猫越, 5. ix. 1965 (郡山), 水生地, 17. vii. 1954 (露木), 9～12. vii. 1953, 3頭(小), 遠笠山, 3. vii. 1966 (露木)

75. *X. emaciatu*s BATES ニイジマトラカミキリ

7～9月, B帯(猫越), C帯(水生地, 八巻林道), D帯(達磨山, 遠笠山)などのリョウブの枯木に普通。幼虫はリョウブ, カエデ類などの枯木に寄生。採集例: 猫越, 27. ix. 1966, 3頭(高桑), 13. ix,

15. ix. 1970 (山上), 水生地, 10. vii. 1950, 2頭 (小), 16. vii. 1955 (露木), 7. viii. 1960, 2頭 (小), 30. vii. 1972 (松本), 達磨山, 25. vii. 1966 (石田)⁶⁾, 遠笠山, 4. viii. 1963 (木村)
76. *X. grayii* (WHITE) ムネマダトラカミキリ
5月, A帯(大瀬崎) 1採集記録のみ。幼虫はキリ, サカキ, ハンノキ, クワ類などの枯木に寄生。採集記録: 大瀬崎, 30. v. 1971 (大木)
77. *X. pyrrhoderus* BATES ブドウトラカミキリ
9月, B帯(猫越), C帯(水生地) ヤマブドウの枯づる, 少ない。幼虫はブドウ, ノブドウ, エビヅル, ヤブカラシに寄生。採集例: 猫越, 27. ix. 1966, 5頭 (高桑), 7. ix. 1970 (山上), 13. ix., 15. ix. 1970 (山上), 水生地, 23. ix. 1963, イタドリの花上 (露木)
78. *Clytus auripilis* BATES キンケトラカミキリ
5~7月, C帯(水生地, 八巻林道), D帯(御幸径路, 長九郎山) ケヤキの倒木, 少ない。幼虫はケヤキの倒木に寄生する。採集例: 水生地, 15. vi. 1953, 5頭 (小), 3. vi. 1952 (小), 八巻林道, 3. vii. 1960 (小), 29. v. 1966 (小), {長九郎山より iii. 1971 採取のケヤキ材より羽化 (山上), 天城峠より採取のケヤキ材より 3~12. v. 1966, 4頭羽化 (郡山) }
79. *Cyrtoclytus caproides* (BATES) キスジトラカミキリ
6~8月, C帯(水生地, 八巻林道) 花上, 余り多くない。幼虫はクルミ類, シデ類, プナ科, アカメガシワ, センノキなど種々の広葉樹の枯木, 枯枝に寄生する。採集例: 水生地, 16. vi. 1953 (小), 12. vii. 1953 (草間), 19. vii. 1954 (露木)
80. *Brachyclytus singularis* KRAATZ アカネトラカミキリ
6月, C帯(水生地) ノブドウの枯づる, 少ない。幼虫はブドウ, ノブドウ, ヤマブドウなどの枯づるに寄生する。採集例: 水生地, 15. vi. 1953 (草間)
81. *Chlorophorus annularis* (FABRICIUS) タケトラカミキリ
7~8月, B帯(猫越, 湯ヶ島, 浄蓮ノ滝), C帯(水生地) など各地に普通。幼虫はマダケ, ハチク, アズマネザサなどの枯竹に寄生する。採集例: 水生地, 27. vii. 1953 (草間)。A帯, 下田, 27. vii. 1970 (中里)
82. *C. japonicus* (CHEVROLAT) エグリトラカミキリ
6~8月, B帯(猫越, 浄蓮ノ滝), C帯(水生地, 八巻林道), D帯(達磨山, 遠笠山) などの花上に多産。幼虫はプナ科, カエデ類, サクラ類, ミカン類など種々の広葉樹の枯木, 枯枝に寄生する。採集例: 浄蓮ノ滝, 16. vi. 1953 (草間), 水生地, 10. vi., 11. vi., 16. vi. 1953, 3頭 (草間), 10. vii. 1953, 3頭 (小), 達磨山, 25. vii. 1966, 3頭 (石田), {遠笠山より採取のヤシヤブシの材より 7. v. 1967 羽化 (木村) }
83. *C. muscosus* (BATES) フタオビミドリトラカミキリ
6~8月, A帯(下田, 石廊崎), B帯(大滝) 稀。幼虫はアカメガシワ, エノキ, クヌギ, オオバヤシヤブシ, ウバメガシなどの枯木, 枯枝に寄生する。採集記録: 下田, 8. viii. 1968 (山上), 3. vii. 1972 (高桑), 石廊崎, 15. vi. 1969 (木村), {同地より採取のウバメガシ, ヤシヤブシより羽化 (木村)}, {大滝で 14. vi. 1971 採取の材より 5月羽化 (山上) }
84. *C. notabilis* (PASCOE) キイロトラカミキリ
6~7月, B帯(猫越, 大滝), C帯(水生地), D帯(達磨山), 枯木, 薪上, 余り多くない。幼虫はスギ, サクラ類, クサギ, ミカン類などの枯木, 枯枝に寄生する。採集例: 猫越, 20. vi. 1968, 2頭, (木村), 水生地, 3. vi. 1952, 2頭 (小), 達磨山, 25. vii. 1966 (石田)⁶⁾, {大滝で 4. iii. 1971 採取のケヤキの枯枝より 6月羽化 (山上) }
85. *Rhaphuma diminuta* (BATES) ヒメクロトラカミキリ
4~7月, B帯(猫越), C帯(大川端, 水生地, 八巻林道), D帯(御幸径路, 長九郎山) などの花上に普通。幼虫はヤシヤブシ, コナラ, ミズナラ, クリ, カシ類, ケヤキ, ミスギなどの枯木, 枯枝に寄生す

る。採集例：猫越，20. vi. 1968 (木村)，5. v. 1969 (草間)，大川端，2. v. 1954 (露木)，水生地，14. vi. 1953 (草間)，16. vi. 1953，9頭 (小)，八巻林道，11. vi. 1961 (木村)，26. iv. 1970 (待山)，御幸径路，15. vi. 1953 (草間)，{長九郎山，iii. 1971 採取の材より羽化 (山上) }

86. *R. xenisca* (BATES) ホソトラカミキリ

6～7月，C帯 (水生地，八巻林道)，やや少ない。幼虫はモミ，エゾマツ，ツガなどの針葉樹や，カシワ，サクラなどの広葉樹の枯木，枯枝に寄生する。採集例：水生地，10. vii. 1953，2頭 (小)，17. vii. 1954 (露木)，八巻林道，11. vii. 1953 (草間)，19. vii. 1970 (鈴木)

87. *Demonax transilis* BATES トゲヒゲトラカミキリ

5～8月，C帯 (大川端，水生地，八巻林道)，D帯 (御幸径路，八丁池) などの花上，特にゴトウヅルの花上に多産する。幼虫はスギ，ヒノキなどの針葉樹やトチノキ，センノキなどの広葉樹の枯木，枯枝に寄生する。採集例：大川端，2. v. 1954，3頭 (露木)，1. vi. 1958 (木村)，水生地，30. v. 1951 (小)，8. vi. 1951 (小)，12. vii. 1953，11頭 (小)，八巻林道，14. vi.，15. vi.，16. vi. 1953，4頭 (草間)，御幸径路，18. vii. 1954 (草間)

Tribe Anaglyptini

88. *Paraclytus excultus* BATES シロトラカミキリ

4～7月，C帯 (大川端，水生地，八巻林道) 花上に普通。幼虫はヤシャブシ，シラカシ，イヌブナなどの枯木，枯枝に寄生。採集例：大川端，3. v. 1964 (山上)，水生地，3. vi. 1951 (小)，25. vii. 1952 (小)，12～16. vi. 1953，8頭 (草間)，16. vi. 1953，10頭 (小)，17. vii. 1954 (露木)，16. iv. 1972 (斎藤)，八巻林道，3. v. 1960 (小)，26. vii. 1969 (小)

89. *Anaglyptus bellus* MATSUMURA et MATSUSHITA アカジマトラカミキリ

9～10月，B帯 (猫越)，C帯 (猫越山系) 新鮮なケヤキの倒木上，少ない。幼虫はケヤキの倒木に寄生。採集例：猫越口，7. ix. 1970 (山上)，猫越山系 (標高約650m)，ix. 1962 (高木—衣笠所蔵)，15. ix. 1963 (高木—木村所蔵)，18～24. ix. 1963，8頭 (栗田，露木，手束，草間)，1. x. 1965 (高木—小比賀所蔵)，27. ix. 1966，5頭 (高桑)，15. ix. 1970 (峰)

90. *A. niponensis* BATES トガリバアカネトラカミキリ

5～7月，B帯 (波勝，猫越)，C帯 (水生地)，D帯 (長九郎山) マユミなどの花上，少ない。幼虫はシラカシの枯木，倒木に寄生する。採集例：波勝，6. v. 1972，約20頭，シイタケのほだ木 (小林)，猫越，20. vi. 1968 (木村)，水生地，16. vi. 1953，3頭 (小)，2頭 (草間)，{長九郎山にて4. iii. 1971 採取の材より羽化 (山上) }

91. *A. subfasciatus* PIC スギノアカネトラカミキリ

4～6月，B帯 (湯ヶ島，桐山)，C帯 (大川端，水生地) 主にスギの倒木，稀。幼虫はスギ，ヒノキなどの衰弱部に寄生する。採集記録：湯ヶ島，12. v. 1968 (木村)，桐山，7. vi. 1965，3頭 (栗田—草間所蔵)，大川端，5. v. 1956 (露木)，水生地，4. v. 1956 (草間)

Tribe Cleomenini

92. *Dere thoracica* WHITE ホタルカミキリ

5～6月，B帯 (猫越)，C帯 (大川端，水生地) 広葉樹の薪や枯枝に集まる，やや少ない。幼虫はブナ科，ネムノキ，グミ類など種々の広葉樹の枯木，枯枝に寄生する。採集例：猫越，5. v. 1969，10頭 (草間)，水生地，10. vii. 1953 (小)，{猫越で採取のネムノキより，9. vi. 1968 に羽化 (木村) }

93. *Cleomenes takiguchii* OHBAYASHI タキグチモモブトホソカミキリ

6～7月，B帯 (猫越，大滝温泉)，2例のみ。幼虫はカゴノキの枯木，枯枝に寄生。採集記録：猫越，16. vii. 1967 (木村)，{大滝温泉にて4. iii. 1971 に採取したケヤキ材より6月に羽化 (山上) }

Tribe Purpuricenini

94. *Purpuricenus (Sternoplistes) temminckii* GUÉRIN ベニカミキリ

5～6月, B帯(猫越, 湯ヶ島新田)花上, やや少ない。幼虫はマダケ, モウソウチクの枯竹に寄生。採集例: 猫越, 20. vi. 1968 (木村), 湯ヶ島新田, 5. v. 1969 (草間)

95. *P. (S.) spectabilis* MOTSCHULSKY ヘリグロベニカミキリ

5～6月, C帯(水生地, 八巻林道)花上, 少ない。幼虫はイタヤカエデ, ヤツデ, ヤマウルシ, センノキなどの枯木, 枯枝に寄生する。採集例: 水生地, 15. vi. 1953 (草間), 16. vi. 1953 (小), 八巻林道, 3. v. 1962 (中村)。A帯, 下田, vi. 1973 (山上)

Ⅵ ふ と か み き り 亜 科 Subfamily Lamiinae

Tribe Mesosini

96. *Mesosa (Mesosa) myops japonica* BATES ゴマフカミキリ

6月, C帯(水生地)稀。幼虫はヤナギ類, ブナ科, ヤマグワ, イタヤカエデ, ミズキなどの広葉樹の枯木やフジ, ヤマフジの枯づるに寄生する。採集記録: 水生地, 13. vi. 1953 (草間)

97. *M. (Aphelocnemis) longipennis* BATES ナガゴマフカミキリ

6～9月, B帯(湯ヶ島), C帯(水生地), D帯(八丁池)などの枯木, 少ない。幼虫はブナ科, ケヤキ, サクラ類, ネムノキ, アカメガシワ, ヌルデなどの広葉樹の枯木に寄生する。採集例: 湯ヶ島, 2. vii. 1967 (露木), 水生地, 12. vii. 1955 (高木—草間所蔵), 八丁池, 4. ix. 1965 (郡山)

98. *M. (A.) senilis* BATES ウスアオゴマフカミキリ

6～7月, B帯(猫越), C帯(水生地, 八巻林道)ブナなどの枯木, 倒木, 余り多くない。幼虫はブナ科, シナノキ, ヤマザクラ, ハンノキ類, ミズキなどの枯木に寄生する。採集例: 猫越, 2. vii. 1967 (木村), 水生地, 3. vi. 1951 (小), 8. vi. 1951 (小), 八巻林道, 3. vii. 1960 (小), 10. v. 1965 (山上)

99. *M. (Perimesosa) hirsuta* BATES カタジロゴマフカミキリ

7～9月, A帯(大仁), B帯(与市阪, 猫越), C帯(水生地), D帯(八丁池)などの広葉樹の枯木, やや少ない。幼虫はシイ, シデ類, サクラ類, カエデ類などの広葉樹やモミの枯木に寄生する。採集例: 大仁, 9. vii. 1950 (小), 与市阪, 2. vi. 1963 (高木), 猫越, 10. ix. 1963 (栗田), 水生地, 16. vii. 1955 (高木—草間所蔵), 八丁池, 4. ix. 1965, 5頭(郡山)

100. *Falsomesosella gracilior* (BATES) シロオビゴマフカミキリ

6～7月, B帯(猫越), C帯(水生地, 八巻林道)の枯木, 少ない。幼虫はケヤキ, ネム, シオジなどに寄生する。採集例: 猫越, 2. vii. 1967 (露木), 水生地, 10. vii. 1950 (小), 八巻林道, 11. vii. 1961 (小), {猫越にて 20. iii. 1968 採取のネムノキから 4. v. 1968, 羽化(露木), 同じく 3～9. vi. 1968, 7頭羽化(木村) }

Tribe Homonoeini

101. *Bumetopia japonica heiana* HAYASHI ハチジョウウスアヤカミキリ

2月, A帯(下田)のメダケ中よりの1例のみ, 本州では房総半島について2回目の記録。幼虫はおそらくメダケの生竹に寄生すると思われる。(八丈島ではメダケに寄生)。採集記録: 下田須崎, 11. ii. 1973, 10頭(小田義広, 久保田篤男)

Tribe Apomecynini

102. *Asaperda agapanthina* BATES シナノクロフカミキリ

6～7月, A帯(大瀬崎), B帯(浄蓮), C帯(水生地, 八巻林道)の枯木, 枯枝, やや少ない。幼虫はイチヂク, クワ, サワグルミ, ケヤキなどの広葉樹の枯木やフジの枯づるに寄生する。採集例: 大瀬崎 30. v. 1971 (大木), 浄蓮, 11. vii. 1953 (草間), 水生地, 12. vii. 1953 (草間), 八巻林道, 26. vi. 1966, 2頭(小)

103. *A. rufipes* BATES キクスイモドキカミキリ

5～8月, C帯(水生地)稀。幼虫はブナ, クワ, シオジ, キブシなどの枯木に寄生する。採集記録: 水生地, 6. viii. 1955 (露木), v. 1958 (高木)

104. *Atimura japonica* BATES コブスジサビカミキリ

5月, A帯(大瀬崎), B帯(一碧湖)の2例のみ。幼虫の寄生植物は未だ判明していない。採集記録: 30. v. 1971 (露木), 一碧湖, 23. v. 1971 (高桑)

105. *Xylariopsis mimica* BATES クビジロカミキリ

6～10月, B帯(猫越), C帯(水生地, 天城峠)のツルウメモドキの枯づる又は生づる, 稀。幼虫はツルウメモドキ, フジの枯づるに寄生する。採集記録: 猫越, 1. x. 1966 (田中), 水生地, 4. vi. 1949 (小)

106. *Sybra unifasciata* FUJIMURA ヒトオビチビカミキリ

7～8月, C帯(旧天城峠, 寒天林道)の3例のみ。幼虫はオニグルミに寄生, その他の植物にも寄生するが未だ判明しない。採集記録: 寒天林道, 10. viii., 11. viii. 1971, 2頭, 枯枝の叩網(中村), 旧天城峠 27. viii. 1970 (鈴木)

Tribe Hippopsini

107. *Cleptometopus bimaculatus* (BATES) ハスオビヒゲナガカミキリ

6～9月, A帯(石廊崎), B帯(猫越), C帯(水生地, 八巻林道), D帯(長九郎山, 猿山)少ない。幼虫はナガバモミジイチゴ, キイチゴ, ニフトコ, オオバヤシヤブシなどの枯枝に寄生する。採集例: 石廊崎, 30. vi. 1966 (小宮), 猫越, 23. ix. 1963 (草間), 13. ix. 1970 (山上), 水生地, 11. vii. 1953, 2頭(小), 27. vii. 1955 (高木—草間所蔵), 27. vii. 1956, 3頭(露木), 20. vi. 1957 (高木—草間所蔵), 長九郎山, 25. vii. 1971, 猿山, 27. vii. 1969 (鈴木)

108. *Pseudocalamobius japonicus* (BATES) ドウボソカミキリ

5～7月, B帯(猫越), C帯(大川端, 水生地, 八巻林巻, 滑沢溪谷)アマギアマチャの枯枝に普通。幼虫はタマアジサイ, サワアジサイの枯枝に寄生する。採集例: 猫越, 12. v. 1968 (木村), 大川端, 4. v. 1966 (郡山), 水生地, 5. vi. 1949 (小—草間所蔵), 8. vi. 1951 (小), 3. v. 1954 (露木), 16. vii. 1954 (露木), 30. v. 1955 (高木—草間所蔵), 八巻林道, 11. vi. 1961 (小), 29. v. 1966, 6頭(小), 29. vii. 1967 (草間), 11. vi. 1972, 2頭(松本), 滑沢溪谷, 25. vi. 1972 (山上)

Tribe Pteropliini

109. *Niphona furcata* (BATES) ハイイロヤハズカミキリ

4～7月, A帯(石廊崎, 蓮台寺), B帯(湯ヶ島, 浄蓮ノ滝, 桐山)などのタケ, 余り多くない。幼虫はマダケ, アズマネザサ, マダケなどタケ類の枯竹に寄生する。採集例: 蓮台寺, 18. v. 1969 (木村), 浄蓮ノ滝, 10. vii. 1953 (小), {石廊崎にて 15. v. 1969 採取のマダケより羽化(木村)}

110. *Pterolophia* (*Pterolophia*) *caudata* (BATES) トガリシロオビサビカミキリ

6～7月, A帯(大瀬崎), B帯(与市坂), C帯(大川端, 水生地, 八巻林道)などの枯木に普通。幼虫はブナ科, カシ類, ミカン類, トチノキ, シオジなどの枯木やフジ, ヤマフジの枯づるに寄生する。採集例: 大瀬崎, 30. v. 1971 (大木), 水生地, 17. vii. 1954 (露木), 八巻林道, 28. vii. 1967 (草間)。下田, 27. vi. 1970 (山上)

111. *P. (P.) granulata* (MOTSCHULSKY) アトモンサビカミキリ (第2表, 脚註****参照)

6～8月, B帯(浄蓮ノ滝), C帯(水生地, 八巻林道)などの枯木の普通。幼虫はスギ, カラマツなどの針葉樹や, ヤナギ類, ブナ科, センノキなど各種広葉樹の枯木やヤマフジの枯づるに寄生する。採集例: 水生地, 10. vii. 1950, 2頭(小), 14. vi. 1953, 3頭(小), 10. vii. 1953, 2頭(草間), 12. vii. 1953 (草間), 八巻林道, 2. vi. 1963 (衣笠)

112. *P. (P.) japonica* BREUNING シロオビサビカミキリ

6～8月, C帯(水生地, 八巻林道), D帯(御幸径路, 八丁池), などの枯木に普通。幼虫はサワグル

ミ、ケヤキ、ホオノキ、センノキなどの枯木やツルウメモドキの枯づるに寄生する。採集例：水生地，5. vi. 1949（小一草間所蔵），10. vii.，11. vii. 1950，2頭（小），9. vii.，10. vii. 1953，5頭（草間），16. vii. 1954（露木），八巻林道，11. vii.，12. vii. 1953，10頭（草間），26. vi. 1966，3頭（小），御幸径路，29. vii. 1965，2頭（草間）

113. *P. (P.) zonata* (BATES) アトジロサビカミキリ

5～8月，A帯（大瀬崎），B帯（猫越），C帯（水生地）など各地の枯木，枯枝に普通。幼虫はブナ科，ネムノキ，アカメガシワ，トチノキなど各種広葉樹の枯木や，フジ，クズ，ゴトウヅルなどの枯づるに寄生する。採集例：大瀬崎，30. v. 1971（木村），水生地，10. vii. 1950（小），8. vi. 1951（小），{猫越より採取のネムノキより，23. v. 1968羽化（木村）}

114. *P. (Hylobrotus) annulata* (CHEVROLAT) ワモンサビカミキリ

5月，A帯（大瀬崎），B帯（大滝温泉）の2例のみ。幼虫はブナ科，クワ類，カラスザンショウなどの枯木やフジ，クズなどの枯づるに寄生する。採集記録：大瀬崎，30. v. 1971（木村），[大滝温泉付近で14. iv. 1971採取の材より羽化（山上）]

115. *P. (Ale) jugosa* (BATES) ナカジロサビカミキリ

5～7月，C帯（水生地，八巻林道）などの枯木に普通。幼虫はブナ科，クワ，トチノキ，センノキ，ミズキ，シナノキなど，各種広葉樹の枯木やフジ，ブドウなどの枯づるに寄生する。採集例：水生地，10. vii. 1950，2頭（小），3. vi. 1951（小），30. v. 1951，2頭（小），9. vii.，10. vii. 1953，2頭（草間），19. v. 1963（露木），八巻林道，12. vii. 1953（草間）

116. *Egesina (Niijimaia) bifasciana* (MATSUSHITA) ニイジマチビカミキリ

5～7月，A帯（大瀬崎），B帯（一碧湖），C帯（水生地）などの枯木，余り多くない。幼虫はヤマダワの枯枝に寄生する。採集例：大瀬崎，30. v. 1971，3頭（大木），一碧湖，23. v. 1970（高桑），水生地，10. vii. 1953，2頭（小），26. vi. 1955（高木一草間所蔵），7. vii. 1955，4頭（高木一草間所蔵）

Tribe Phrissomini

117. *Parechthistatus grossus* (BATES) セダココブヤハズカミキリ

5～8月，D帯（御幸径路，八丁池，遠笠山）などのブナの倒木や枯木，やや少ない。幼虫はブナの倒木や朽木に寄生する。採集例：御幸径路，9. vii. 1953（小），13. vi. 1955（小），30. v.，14. vi.，16. vii. 1955（高木一草間所蔵），11. vi.，13. vi. 1955（露木），17. vii.，21. vii. 1955（露木），28. vii. 1965（草間），八丁池，5. viii. 1955（露木），11. vi. 1961，2頭（木村），10. vi. 1965（山上），4. vi. 1967（峰），26. vi. 1966（小）

Tribe Agniini

118. *Monochamus (Monochamus) alternatus* HOPE マツノマダラカミキリ

6～7月，A帯（下田，城ヶ崎海岸），B帯（湯ヶ島新田），C帯（水生地）マツの倒木，普通。幼虫はクロマツ，アカマツ，モミ，スギなどの針葉樹の枯木に寄生する。採集例：下田，20. vi. 1970（山上），湯ヶ島新田，vi. 1956（高木），水生地，vii. 1955（高木）

119. *M. (M.) grandis* WATERHOUSE ヒゲナガカミキリ

9月，B帯（猫越）の1例のみ。幼虫はモミ，ツガ，アカマツなどマツ類の枯木に寄生する。採集記録：猫越，4. ix. 1965（露木）

120. *M. (M.) subfasciatus* (BATES) ヒメヒゲナガカミキリ

6～9月，B帯（猫越，大滝温泉），C帯（大川端，水生地，八巻林道），D帯（八丁池，遠笠山，達磨山）などの枯木に普通。幼虫はサワグルミ，アカシデ，ハンノキ類，ブナ，クワ類，ミカン類，アカメガシワなど各種広葉樹の枯木に寄生する。採集例：水生地，10. vii. 1950（小），15. vi. 1953（小），24. vi.，12. vii. 1953（高木一草間所蔵），八巻林道，31. vii. 1953，2頭（高木一草間所蔵）旧天城峠，

26. vii. 1972 (山上), 八丁池, 4. ix. 1965, 4頭 (郡山), 遠笠山, 4. viii. 1963 (木村), 達磨山, 25. vii. 1966 (石田), 【大滝温泉にて 14. iv. 1971 採取の材より羽化 (山上)】
121. *Anoplophora malasiaca* (THOMSON) ゴマダラカミキリ
7~8月, A帯 (下田, 城ヶ崎 海岸), B帯 (浄蓮ノ滝, 湯ヶ野) と記録は少ないが, A, B帯では普通のはず。幼虫はヤナギ類, ミカン類, クワ類, その他種々の広葉樹の生木に寄生する。採集記録: 浄蓮ノ滝, vii. 1956 (高木), 湯ヶ野, 13. vii. 1955 (高木—露木所蔵)
122. *Mecynippus pubicornis* BATES イタヤカミキリ
7月, B帯 (河津) の1例のみ。幼虫はイタヤカエデ類, ヤナギ類, カツラの生木に寄生する。採集記録: 河津, vii. 1957 (高木)
123. *Acalolepta luxuriosa* (BATES) センノキカミキリ
7月, A帯 (下田, 城ヶ崎 海岸), C帯 (水生地, 仁科峠) 稀。幼虫はブナ, シナノキ, タラノキ, センノキ, ヤツデなどの枯木に寄生する。採集記録: 下田, 5. vii. 1952 (小), 7. vii. 1952 (小), 水生地, 28. vii. 1955 (高木), 【仁科峠にて iii. 1967 採取の材より7月羽化 (露木)】
124. *A. fraudatorix* (BATES) ビロウドカミキリ
6~9月, A帯 (下田), B帯 (猫越, 与市阪), C帯 (水生地, 八巻林道) などの灯火や枯木より, 少ない。幼虫はアカマツ, クロマツ, クルミ類, ヤマザクラ, ネムノキ, アカメガシワ, ミズキ, ニワトコなどの枯木に寄生する。採集例: 下田須崎, 3. vii. 1972 (高桑), 水生地, 10. vii. 1950 (小), 9. viii. 1954, 2頭 (高木—草間所蔵), 20. vii. 1955 (露木), 23. ix. 1963 (草間), 八巻林道, 19. vii. 1970 (鈴木)
125. *A. sejuncta* (BATES) ニセビロウドカミキリ
7~9月, B帯 (猫越, 浄蓮ノ蓮, 河津), C帯 (大川端, 水生地, 八巻林道, 寒天), D帯 (長九郎山) などの枯木, やや少ない。幼虫はアカシデ, シラカシ, ノリウツギ, ヤツデ, ミズキ, ネムノキなど広葉樹の枯木に寄生する。採集例: 猫越, 2. vii. 1967 (木村), 水生地, 16. vii. 1954 (露木), 9. viii. 1954, 2頭 (高木—草間所蔵), 23. ix. 1962 (草間), 八巻林道, 29. vii. 1967, 2頭 (草間), 旧天城峠, 16. vii. 1971 (峰), 長九郎山, 25. vii. 1971 (山上)
126. *Uraecha bimaculata* THOMSON ヤハズカミキリ
6~9月, A帯 (下田, 大瀬崎, 城ヶ崎海岸), B帯 (猫越), C帯 (水生地, 八巻林道), D帯 (遠笠山) などの枯木, 枯枝より, やや少ない。幼虫はネム, イチヂク, サクラ, ツクバネガシなどの枯木に寄生する。採集例: 下田, 4. vii. 1952 (小), 大瀬崎, 30. v. 1971 (大木), 猫越, 7. ix. 1970 (山上), 水生地, 10. vii. 1950 (小—草間所蔵), 11. vii. 1953 (草間), 24. vi. 1955 (高木—草間所蔵), 八巻林道, 29. vii. 1967 (小), 遠笠山, 4. viii. 1963, 2頭 (木村)
127. *Annamanum griseolum* (BATES) ゴマフキマダラカミキリ
8月, D帯 (遠笠山) の1例のみ。幼虫の寄生植物は判明していないが, ハンノキかヤマハンノキではないかと思われる。採集記録: 遠笠山, 4. viii. 1963, 2頭, ハンノキの新らしい伐採枝より (露木)
128. *Eupromus ruber* (DALMAN) ホシベニカミキリ
5~7月, A帯 (下田), B帯 (河津), 採集例は少ないが, A, B帯のタブノキに多産するはず。成虫はタブノキの新芽を食害する。幼虫はタブ, クスなどクス科の生木に寄生する。採集例: 下田, 25. vi. 28. vi. 1970, 11頭 (山上), 3. vii. 1972 (高桑), 河津, vi. 1964 (高木)
129. *Psacothaea hilaris* (PASCOE) キボシカミキリ
7~9月, A帯 (城ヶ崎海岸), B帯 (三本松), 天城山での採集記録は1つでが, A, B帯のイチヂクその他に多産するはず。幼虫はイチヂク, クワの生木に寄生する。採集記録: 三本松, ix. 1964 (高木)
130. *Xenicotela pardalina* (BATES) チャボヒゲナガカミキリ
5~8月, A帯 (大瀬崎), B帯 (一碧湖), C帯 (水生地, 八巻林道), D帯 (長九郎山) などの枯木,

やや少ない。幼虫はカラスザンショウ、サンショウ、ヤマハゼ、トチノキなどの枯木に寄生する。採集例：大瀬崎，30. v. 1971 (大木)，一碧湖，23. v. 1970，サンショウの枯枝を後食 (高桑)，水生地，19. vii. 1954 (露木)，八巻林道，3. vii. 1960，3頭 (小)，長九郎山，25. vii. 1971 (山上)

131. *Nanohammus rufescens* BATES クリイロシラホシカミキリ

7月，C帯 (八巻林道) の2例のみ。幼虫の寄生植物不明。採集例：天城峠，28. vii. 1965，枯枝の叩網 (草間)，19. vii. 1970 (鈴木)

Tribe Batocerini

132. *Apriona japonica* THOMSON クワカミキリ

6月，B帯 (与市阪) 天城山では1採集記録のみであるが，A，B帯では普通種と思う。幼虫はクワ，ボブラ類，イチヂク，その他多種類の広葉樹の生木に寄生する。採集記録：与市阪，20. vi. 1963 (高木一草間所蔵)。A帯，下田，15. viii. 1968 (山岸宏)，石廊崎，31. vii. 1973 (鈴木)

133. *Batocera lineolata* CHEVROLAT シロスジカミキリ

4～8月，A帯 (下田，城ヶ崎海岸)，B帯 (浄蓮ノ滝)，天城山での採集例は少ないが，A，B帯では普通のはず。幼虫はヤナギ類，ヤシヤブシ，ブナ科など各種広葉樹の生木に寄生する。採集記録：下田，23. vi. 27. vi. 1970，2頭 (山上)，浄蓮ノ滝，viii. 1955 (高木)，18. iv. 1956，灯火に飛来 (高木)

Tribe Ancyronotini

134. *Palimna liturata* (BATES) ヒゲナガゴマフカミキリ

7～9月，C帯 (八巻林道)，D帯 (八丁池，遠笠山) のブナなどの倒木，少ない。幼虫はブナ科，シデ類，カエデ類，ミズキなどの枯木に寄生する。採集例：八巻林道，viii. 1954 (高木一小比賀所蔵)，17. vii. 1955 (露木)，八丁池，7. viii. 1960，2頭 (小)，遠笠山，4. viii. 1963 (木村)

Tribe Rhodopinini

135. *Rhodopina integripennis* (BATES) マルバネコブヒゲカミキリ

6～8月，C帯 (水生地，八巻林道)，D帯 (御幸径路，遠笠山) などのミズキの枯木，少ない。幼虫はミズキ，タンナサワフタギの枯木に寄生する。採集例：水生地，6. vii. 1953 (高木一草間所蔵)，28. vi. 1954 (高木一草間所蔵)，2. viii. 1954 (小)，10. viii. 1955 (露木)，八巻林道，28. vii. 1965 (草間)，27. vii. 1969 (鈴木)，26. vii. 1972，10頭 (山上)，御幸径路，29. vii. 1965 (草間)，遠笠山，4. viii. 1963 (露木)

136. *R. lewisii* (BATES) セミスジコブヒゲカミキリ

5～7月，A帯 (大瀬崎)，B帯 (湯ヶ島，猫越)，C帯 (水生地，八巻林道)，D帯 (長九郎山)，の枯木，少ない。幼虫はクリ，コナラの枯木に寄生する。採集例：大瀬崎，30. v. 1971 (上坂)，猫越，2. vii. 2頭，16. vii. 1967，2頭 (木村)，湯ヶ島，2. vi. 1957 (木村)，水生地，30. vii. 1972 (松本)，天城峠，26. vii. 1972 (山上)，長九郎山，25. vii. 1971 (山上)

137. *Rhopaloscelis bifasciatus* KRAATZ フタオビアラゲカミキリ

5～8月，A帯 (大瀬崎)，B帯 (猫越)，C帯 (水生地，八巻林道，寒天) などの枯木，伐採枝に普通。幼虫はサワグルミ，ミズナラ，アカメガシワ，センノキ，ミズキ，シオジなどの枯木に寄生する。採集例：大瀬崎，30. v. 1971. 2頭 (大木)，水生地，10. vii. 1950，2頭 (小)，15. vi. 1953 (草間)，10. viii. 1953，8頭 (小)，八巻林道，26. vi. 1966 (小)，11. vi. 1967 (小)，29. vi. 1969 (小)，{猫越のウラジロカシより 26. v. 1968 に羽化 (木村) }

138. *R. maculatus* BATES フタモンアラゲカミキリ

6～8月，B帯 (与市阪)，C帯 (水生地，八巻林道) などの枯木，伐採枝，枯づるに普通。幼虫はアカメガシワなどに寄生する。採集例：与市阪，29. vii. 1965，2頭 (草間)，水生地，10. vii. 1953，2頭 (小)，7. vii. 1955，2頭 (高木一草間所蔵)，30. vii. 1972 (松本)，八巻林道，21. vii. 1955 (露木)，26. vii. 1972 (山上)

139. *R. unifasciatus* BLESSIG ヒトオビアラゲカミキリ

4～7月, A帯(大瀬崎), B帯(猫越, 大滝温泉), C帯(水生地, 八巻林道), D帯(猿山)などの枯木に普通。幼虫はウルシ科, ヤナギ類, ヤブニツケイ, アカメガシワ, イヌシデ, イヌビワなどの枯木に寄生する。採集例: 大瀬崎, 30. v. 1971, 3頭(大木), 猫越, 12. v. 1968(木村), 水生地, 10. vii. 1950(小), 16. vi. 1955(露木), 26. vi. 1955(高木—草間所蔵), 16. iv. 1972(斎藤), 八巻林道, 19. v. 1963(露木), 猿山, 27. viii. 1969(鈴木), {大滝温泉にて 15. iv. 1971 採集の材より羽化(山上)}

140. *Oplosia fennica suvorovi* PIC エゾトゲムネカミキリ

6月, C帯(寒天)の1採集例のみ。幼虫はモミの枯木に寄生する。採集記録: 寒天, 28. vi. 1959(渡辺弘文)

141. *Miccolamia (Miccolamia) cleroides* BATES カッコウカミキリ

4～8月, A帯(大瀬崎), B帯(猫越), C帯(大川端, 水生地, 八巻林道)などのアマギアマチャの枯枝に普通。幼虫はエゾマツの寄生のみが判明, その他は未だ不明。採集例: 猫越, 3. v. 1968(露木), 大川端, 2. v. 1954(草間), 水生地, 10. viii. 1955(露木), 7. vii. 1956(露木), 16. iv. 1972, 2頭(斎藤), 11. vi. 1972(松本), 八巻林道, 17. v. 1963(露木), 29. vii. 1965, 2頭(草間), 4. v., 5. v. 1966, 7頭(郡山), 29. v. 1966, 2頭(小), 26. vi. 1966(小)

142. *M. (Isomiccolamia) verrucosa* BATES チビコブカミキリ

5～6月, C帯(水生地)天城山では現在までは稀, 箱根付近では割合に多い。幼虫はクマノミズキの枯木, 枯枝に寄生する。採集記録: 19. v. 1963(露木), 11. vi. 1972(松本)

143. *Graphidessa venata* BATES クモノスモンサビカミキリ

5～9月, C帯(水生地, 八巻林道, 寒天林道), D帯(遠笠山, 猿山)のアカメガシワなどの枯木, 余り多くない。幼虫はリョウブの枯木に寄生する。採集例: 水生地, 10. vii. 1953, 3頭(小, 草間), 20. v. 1956(草間), 21. v. 1956, 2頭(露木, 草間), 3. v. 1960, 3頭(小), 天城峠, 25. vi. 1972(山上), 寒天林道, 11. vi. 1972, 2頭(松本), 遠笠山, 4. viii. 1963(木村), 猿山, 19. vii. 1970(鈴木), {遠笠山で採取したリョウブの枯木より 12. xi. 1966 羽化(木村)}

144. *Cylindilla grisescens* BATES ハイイロツツクビカミキリ

5～7月, C帯(水生地)ツルウメモドキの枯枝より3頭のみ。幼虫はアケビの枯づる, シデ類の枯木に寄生。採集記録: 水生地, 10. vii. 1948(小), 11. vi. 1961(小), 9. v. 1971(高橋勝)

145. *Aragea mizunoi* HAYASHI トゲムネアラゲカミキリ

7月, C帯(水生地)原記載の加賀白山(17. vii. 1947)と本記録の2例のみ。1954年にも同地で1頭採集されたと聞くが不確実。幼虫の寄生植物は不明。採集記録: 水生地, 12. vii. 1953(草間)

146. *Eupogoniopsis tenuicornis* (BATES) ホソヒゲケブカカミキリ

7～8月, C帯(水生地, 八巻林道, 寒天, 滑沢溪谷), D帯(御幸径路, 八丁池)などのアブラチャンその他の枯木に普通。幼虫はキブシ, ニガキ, ヤマウルシの枯木に寄生する。採集例: 水生地, 10. vii. 1948(小), 9. vii. 1950(小), 9～11. vii. 1953, 14頭(小, 草間), 17. vii. 1955(露木), 30. vii. 1972(松本), 八巻林道, 31. vii. 1971(露木)

147. *Sybrodiboma subfasciata* (BATES) シロオビチビカミキリ

5～8月, B帯(猫越), C帯(水生地, 八巻林道), D帯(遠笠山)などの枯木に普通。幼虫はシデ類, ミズナラ, カツラ, カシ類, モミジ類など各種の広葉樹の枯木, 枯枝に寄生する。採集例: 猫越, 22. vii. 1967(木村), 20. vi. 1968(木村), 水生地, 10～11. vii. 1950, 3頭(小), 12. vii. 1953(草間), 26. vi. 1955(高木—草間所蔵), 八巻林道, 29. vii. 1965, 6頭(草間), 遠笠山, 4. viii. 1963(木村), {天城峠のケヤキ材より 30. v. 1966 に羽化(郡山)}

148. *Doius divaricatus* (BATES) ドイカミキリ

6～8月, B帯(天城ロッジ), C帯(水生地), D帯(長九郎山)などのミズキ, アブラチャン, サンショウなどの枯木, 余り多くない。幼虫はミズキ, ズミ, モミなどの枯木に寄生する。採集例: 天城ロッジ, 22. viii. 1965, 灯火に飛来(松本), 水生地, 19. vii. 1954(露木), 17. vi. 1956(小), 29. v. 1966, 2頭(小), 長九郎山, 25. vii. 1971(山上)

149. *Sophronica obrioides* (BATES) イボタサビカミキリ

9月, B帯(猫越口)のケヤキ材の切口で, 2頭採集されたのみ。幼虫はテイカカズラの枯木に寄生する。採集記録: 猫越口, 5. ix. 1965(郡山)。D帯, 長九郎山, 25. vii. 1971, 1. vii. 1973(鈴木)

Tribe Pogonocherini

150. *Pogonocherus* (*Eupogonocherus*) *seminiveus* BATES ネジロカミキリ

5～6月, C帯(水生地)少ない。幼虫はタラ, センノキ, ブナ, ニレなどの枯木に寄生する。採集例: 水生地, 15. vi. 1953(草間)

Tribe Acanthoderini

151. *Callapoecus guttatus* BATES ゴイシモモトカミキリ

6～7月, C帯(水生地), D帯(長九郎山)などのカエデ類の枯木, 少ない。幼虫はカエデ類の枯木に寄生する。採集例: 水生地, 10. vii. 1953(小), 19. vii. 1955(露木), 長九郎山, 25. vii. 1971(山上)

Tribe Acanthocini

152. *Acanthocinus griseus* (FABRICIUS) スジマダラモモトカミキリ

8月, D帯(遠笠山)。幼虫はクロマツ, アカマツなどマツ類やモミに寄生する。採集記録: 遠笠山, 4. viii. 1963, 2頭(木村)。A帯, 下田, 26. vi, 30. vi. 1970, 2頭(山上)

153. *Leiopus stillatus* (BATES) ゴマダラモモトカミキリ

6～7月, C帯(水生地)少ない。幼虫はカエデ類, カシ類, クマノミズキ, ブナなど各種の広葉樹の枯木に寄生する。採集記録: 水生地, 13. vi. 1955(露木), 3. vii. 1960, 2頭(小)

154. *Eryssamena saperdina* BATES トゲバカミキリ

6～8月, B帯(猫越, 与市阪, 津連ノ滝), C帯(大川端, 水生地, 八巻林道), D帯(御幸径路, 八丁池)の枯木に普通。幼虫はミズキ, クマノミズキ, カシ類, ブナ, アカシデ, センノキなど各種の広葉樹の枯木に寄生する。採集例: 水生地, 9～11. vii. 1953, 2頭(小), 27. vii. 1955(露木)

155. *Exocentrus* (*Exocentrus*) *galloisi* MATSUSHITA ガロアケシカミキリ

7～8月, B帯(猫越)の枯木, 少ない。幼虫はフジ, ヤマフジ, クリ, ツブラシイなどの枯木, 枯枝に寄生する。採集記録: 7. viii. 1966(露木), 16. vii. 1967(木村), 6. viii. 1967(露木)

156. *E. (E.) lineatus* BATES アトモンマルケシカミキリ

6月, B帯(与市阪), 普通種であるが, 天城山では1例のみ。幼虫はツブラシイ, イチヂク, ヤマグワ, ミズキ, エゴノキなど多くの広葉樹の枯木, 枯枝に寄生する。採集記録: 与市阪, 20. vi. 1963, 2頭(高木一草間所蔵)

157. *E. (E.) testudineus* MATSUSHITA キツコウモンケシカミキリ

6～8月, B帯(猫越), C帯(水生地, 八巻林道)などの枯木に多産する。幼虫はサワグルミ, ミズナラ, ケヤキ, ホオノキ, イタヤカエデなど各種の広葉樹の枯木, 枯枝に寄生する。採集例: 水生地, 15. vi. 1953(草間), 10. viii. 1955(草間), 八巻林道, 26. vi. 1966(小), {猫越のネムノキの枯枝より 20. v. 1968 羽化(木村)}

158. *E. (Camptomyne) fasciolatus* BATES クモガタケシカミキリ

6月, B帯(猫越), 普通種であるが, 伊豆では1例しか知らない。幼虫はカシワ, クワ類, フジ, ミズキ, エゴノキなどの広葉樹の枯木, 枯枝に寄生する。採集記録: {猫越のネムノキの枯枝より 25. vi. 1968 羽化(木村)}

159. *Estoliops fasciatus* MATSUSHITA クロオビトゲムネカミキリ

6～8月, B帯(猫越), C帯(旧天城峠), 従来の本州の記録は春日山の1例のみであったが, 伊豆半島にも産することが判明した。幼虫の寄生植物はおそらくシイ, カシ類と思われる。採集記録: 猫越檜山 2. vii. 1967 (木村), 6. viii. 1967, 2頭(木村, 露木), 旧天城峠, 16. vii. 1971 (峰), {iii. 1967 猫越檜山で採取の枯枝より 18. vii. 1967 羽化(木村, 露木), 同地で 6. iii. 1972 採取の枯枝より 同年 6月羽化(山上)}

160. *Miaenia (Pseudocidnus) tonsa* (BATES) ケシカミキリ

5～7月, A帯(大瀬崎), C帯(水生地)少ない。幼虫はマツ類, フジ, イチヂクなどの枯死部や枯木, 枯づるに寄生する。採集記録: 大瀬崎, 30. v. 1971, 約20頭(大木), 水生地, 23. vii. 1955, 2頭(露木)

Tribe Astathini

161. *Bacchisa (Bacchisa) fortunei japonica* (GAHAN) ルリカミキリ

5～6月, A帯(大瀬崎), B帯(浄蓮ノ滝)少ない。幼虫はモモ, ナシ, ズミ, その他バラ科植物の生木に寄生する。採集記録: 大瀬崎, 30. v. 1971, 3頭(露木, 木村), 浄蓮ノ滝, 16. vi. 1953 (小)

Tribe Saperdini

162. *Saperda tetrastigma* BATES ムネモンヤツボシカミキリ

6月, C帯(寒天)での1頭のみ。幼虫はゴトウヅルの枯づるに寄生する。採集記録: 寒天橋付近, 14. vi. 1953, ゴトウヅルの枯づる(小)

163. *Eutetrappa chrysochloris* (BATES) ハンノアオカミキリ

6～8月, C帯(水生地, 八巻林道)などの倒木, 伐採木, やや少ない。幼虫はカラマツ, ヤナギ類, ミズナラ, イタヤカエデ, ケヤマハンノキなどの枯木に寄生する。採集例: 水生地, 9. vi. 1953 (草間), 31. vii. 1954, 2頭(小), 6. vi. 1955 (高木—草間所蔵), 23. vii. 1955 (露木), 八巻林道, 3. viii. 1953 (高木—草間所蔵), 5. viii. 1955 (露木), 31. viii. 1955 (高木—草間所蔵)

164. *E. ocelota* (BATES) ヤツメカミキリ

6～8月, B帯(浄蓮ノ滝, 与市阪), C帯(水生地, 八巻林道), D帯(遠笠山)サクラ類その他の枯木より, 余り多くない。幼虫はヤマザクラ, ウメなどの枯木に寄生する。採集例: 水生地, 3. vii., 7～8. viii. 1960, 4頭(小), 遠笠山, 4. viii. 1963 (木村)。A帯, 下田, 1. vii. 1973 (山上)

165. *Pareutetrappa eximia* (BATES) フチグロヤツボシカミキリ

6～7月, B帯(与市阪), C帯(八巻林道)ホオノキの生葉より, 余り多くない。幼虫はホオノキの枯木, 枯枝に寄生する。採集例: 与市阪, 20. vi. 1963, 2頭(高木), 八巻林道, 8. viii. 1960, 2頭(小, 露木—郡山所蔵), 11. vi. 1961, 10頭(小, 木村, 露木, 丸岡), 9. vii. 1961, 2頭(小, 露木), 7. viii. 1966 (露木)

166. *P. simulans* (BATES) ニセシラホシカミキリ

6～8月, B帯(猫越), C帯(水生地, 八巻林道), D帯(長九郎山, 遠笠山)少ない。幼虫はハイノキ, コバノヤマハンノキに寄生するらしい。採集例: 猫越, 2. vii. 1967 (木村), 水生地, 10. vii. 1950 (小), 9. vii. 1953 (小), 17～19. vii. 1954 (露木), 八巻林道, 8. viii. 1960 (小), 9. vii. 1961 (小), 遠笠山, 3. vii. 1966 (露木), 長九郎山, 25. vii. 1971 (山上)

167. *Menesia sulphurata* (GEBLER) キモンカミナリ

6～8月, C帯(水生地), イヌシデなどの枯木, 少ない。幼虫はサワグルミ, ヤマウルシ, シオジ, アカシデ, トチノキなどの広葉樹の枯木, 枯枝に寄生する。採集例: 水生地, 14. vi. 1953 (小), 7. viii. 1960, 6頭, イヌシデの材(露木)

168. *Paramenesia theaphia* (BATES) ジュウニキボシカミキリ

6月, C帯(八巻林道)で採取のセンノキより羽化した1例のみ。幼虫はセンノキの枯木に寄生する。採

集記録：{八巻林道，4. v. 1966 採取，4～17. vi. 1966，3頭羽化（郡山）}

169. *Cagosima sanguinolenta* THOMSON ハンノキカミキリ
6～7月，B帯（浄蓮ノ滝），C帯（水生地）少ない。幼虫はハンノキ，ヤシャブソ類，シラカバ，カキなどの生木に寄生する。採集例：水生地，10. vii. 1953（草間）。A帯，石廊崎，24. v. 1973（鈴木）
170. *Praolia citrinipes* BATES ヒゲナガヒメルリカミキリ
7月，C帯（水生地）のアブラチャンの枯木から得られる，稀。幼虫はアブラチャン，エゴノキ，カゴノキの枯木，枯枝に寄生する。採集記録：水生地，10. vii. 1953（小一露木所蔵），12. vii. 1953，3頭（小，小一草間所蔵），{4. iii. 1972 採取の水生地のアブラチャンの枯枝より同年7月羽化（山上）}
171. *Glenea relict*a PASCOE シラホシカミキリ
6～8月，B帯（猫越），C帯（水生地，八巻林道），D帯（御幸径路）などの花上に普通。幼虫はクリ，ヌルデ，サワグルミ，カエデ類などの枯木に寄生する。採集例：猫越，16. vii. 1967（木村），水生地，10. vii. 1950（小），28. vii. 1953（露木），17. vii. 1954（露木），御幸径路，9. vii. 1953，2頭（草間）。A帯，下田，27. vii. 1969（三島次郎）
172. *Eumecocera anomala* (BATES) シラホシキクスイカミキリ
7～8月，C帯（水生地）伐採枝より，少ない。幼虫の寄生物は未だ不明，成虫はオヒョウの生葉上で良く採集される（奥日光）。採集例：水生地，31. vii. 1954（小），27. vii. 1955（露木），26. vi. 1966（小）
173. *E. argyrosticta* (BATES) ヒゲナガシラホシカミキリ
6～7月，C帯（水生地，八巻林道），D帯（御幸径路，八丁池），倒木より，少ない。幼虫はダケカンバの枯木に寄生する。採集例：水生地，17. vii. 1955（露木），15. vi. 1957（露木），八巻林道，19. vii. 1954（草間），3. vii. 1966（小），12. vi. 1966（中村），八丁池，29. vii. 1965（草間）
174. *E. trivittata* (BREUNING) セミスジニセリソカミキリ
7月，C帯（水生地）の1頭のみ。幼虫はイタヤカエデ，コナラに寄生するらしい。採集記録：水生地，vii. 1956（高木一草間所蔵）
175. *E. unicolor* (KANO) クロニセリソカミキリ
5～7月，C帯（大川端，水生地）の枯枝，やや少ない。幼虫はサワグルミ，オニグルミの枯木に寄生する。採集例：大川端，5. v. 1956（草間），水生地，3. vi. 1951（小），16. vi. 1955，4頭（高木一草間所蔵），21. v. 1956，2頭（露木），11. vi. 1961（小）
176. *Niponostenostola niponensis* (PIC) カツラニセリソカミキリ
6～7月，C帯（水生地）の枯木，枯枝，少ない。幼虫はサワグルミ，シナノキ，カツラ，ブナなどの枯木に寄生する。採集例：水生地，15. vi. 1953（草間），21. v. 1956，2頭（露木，草間）
177. *Phytoecia rufiventris* GAUTIER キクスイカミキリ
5～6月，A帯（下田），B帯（猫越，浄蓮ノ滝）などのキク科植物より，余り多くない。幼虫はキク，ヨモギなどキク科植物の生茎に寄生する（キクの害虫）。採集例：下田，1. vi. 1951（小），猫越，12. v. 1968，4頭（木村），浄蓮ノ滝，5. v. 1956（草間）
178. *Epiglenea comes* BATES ヨツキボシカミキリ
5～7月，A帯（大瀬崎），B帯（与市阪），C帯（水生地）ヌルデの枯木より，やや少ない。幼虫はヌルデの枯木に寄生する。採集例：大瀬崎，30. v. 1970（大木），水生地，11. vii. 1948（小），11. vii. 1950（小），12. vii. 1953（草間）
179. *Nupserha marginella* (BATES) ヘリグロリンゴカミキリ
6～7月，C帯（水生地，八巻林道，寒天），D帯（御幸径路，遠笠山），やや少ない。幼虫はヨモギの生草に寄生する。採集例：水生地，2. vii. 1952（小），6. vii. 1952（小），9～11. vii. 1953，14頭（小，草間），17. vii. 1954（露木），八巻林道，26. vi. 1966（小），26. vii. 1969（小），遠笠山，18. vii.

1967 (衣笠)

180. *Oberea hebesceus* BATES フチグロチャバネリンゴカミキリ

6～8月, C帯(水生地, 八巻林道), D帯(八丁池, 遠笠山) 余り多くない。幼虫はフジに寄生する。
採集例: 水生地, 14. vi. 1953 (小), 1. viii. 1954 (小), 17. vii. 1954, 2頭(露木), 八巻林道, 3. viii. 1960, 2頭(小), 遠笠山, 4. viii. 1963 (木村)

181. *O. japonica* (THUNBERG) リンゴカミキリ

6～7月, A帯(下田), C帯(水生地, 八巻林道), 少ない。幼虫はサクラなどバラ科植物の生木に寄生する。採集例: 下田, 1～5. vi. 1951, 3頭(小), 1～2. vi. 1952, 3頭(小), 水生地, 10. vii. 1953 (草間)

182. *O. mixta* BATES ニセリンゴカミキリ

7月, C帯(水生地, 八巻林道) 少ない。幼虫の寄生植物は不明, 成虫はスイカズラの生葉に多く, これを後食する。採集記録: 水生地, 17. vii. 1954 (露木), 八巻林道, 18. vii. 1957 (露木)

183. *O. nigriventris* BATES ホソツツリンゴカミキリ

6～7月, C帯(水生地), D帯(遠笠山) の2例のみ。幼虫の寄生植物は不明。採集記録: 水生地, 9. vii. 1953, アマガリアマチャより2頭(小, 草間), 遠笠山, 18. vii. 1957 (衣笠)

各地帯で採集されたカミキリをまとめて見ると第7表のようになる。伊豆半島全体では本州本土に産するカミキリ総数の半分が居ることになる。地帯別に見ると中間帯林が一番種類が豊富である事を示している。

第 7 表
各地帯に産するカミキリの亜科別種数^{* *}

地 帯	亜 科 別 種 数					地 帯 合 計
	のこぎり	くろほそひらた	はな	かみきり	ふと	
温 帯 林: D 帯	2	4	28	10	29	73
中 間 帯 林: C 帯	2	2	37	28	71	140
暖 帯 林: B 帯	3	3	20	23	50	119
海 岸 地 帯: A 帯	2	1	1	12	38	54
伊 豆 半 島 合 計	5	5	43	43	91	187
(本 州 合 計*)	(5)	(11)	(103)	(99)	(162)	(380)

* 伊豆諸島, 冠島, 佐渡ヶ島, 淡路島, 隠岐などの小さい島嶼の記録は除外してある。 **追加種, 追加記録を含んでいる。

2) 将来採集の可能性のある稀種

近隣の富士山, 高尾山や伊豆七島, また地理的に同じような状況にある紀伊半島などとの比較, および古い記録などから今後採集の可能性のある種として, 本州では稀種に属する次の10種を挙げて見る。

(i) フタスジカタビロハナカミキリ, *Evodinus (Evodinus) bifasciatus japonicus* MATSUSHITA

四国では高地のヤマシャクヤクの花上で得られており, また富士山でも採集されている。天城山でもブナ帯中に同植物がある。

(ii) ベーツヤサカミキリ, *Leptoxenus ibidiiiformis* BATES

前述のように BATES の記録後90年間伊豆では採集されていない。春日山では5月上, 中旬花上で採集され, 幼虫の寄生植物のカゴノキは伊豆半島の暖帯林中稀ではない。

(iii) キイロメダカカミキリ, *Stenhomalus nagaoi* HAYASHI

本州では春日山でのみ採集, 幼虫はアセビの枯枝に寄生する。天城山ではアセビは数の多い灌木であ

る。

- (iv) ツヤケシヒゲナゴコパネカミキリ, *Molorchoepania mizoguchii* (HAYASHI)

伊豆諸島の新島で採集されている。

- (v) ズマルトラカミキリ, *Xylotrechus lautus* (MATSUSHITA)

天城山で採集されたとされる標本が小比賀氏の所に存在するが不確実である。紀伊半島では時々採集されており、幼虫はアカメガシワ、ウバメガシの枯木に寄生する。

- (vi) クビアカトラカミキリ, *Xylotrechus rufilius* BATES

北海道から屋久島まで広く分布するが、個体数は余り多くない。幼虫はカエデ類、イヌシデなどに寄生する。

- (vii) キュウシュウチビトラカミキリ, *Perissus kiusiuensis* OHBAYASHI

本種も紀伊半島では採集されており、寄生植物は伊豆の海岸地帯に多いウバメガシとシイである。

- (viii) クビアカモボトホソカミキリ, *Kurarua rhopalophoroides* HAYASHI

春日山、岡山、広島、山口県下の数ヶ所で採集されているが非常に珍しい種で、現在まで数十頭の採集品および寄生植物のシキミから羽化した個体、すべてが雌で、雄は未発見、なほシキミは天城山ではかなり多く見出される。

- (ix) ヨツボシシロオビゴマフカミキリ, *Mesosa (Mesosa) mediofasciata* BREUNING

高尾山、奥多摩のモミの倒木から採集されているが、非常に稀な種である。幼虫もモミの枯枝に寄生する。

- (x) リュウキュウリボンカミキリ, *Glenea (Glenea) chlorospila* GAHAN

伊豆諸島では八丈島から大島まで分布し、個体数もそれ程稀ではない。シイやアジサイの花上で採集されている。幼虫の寄生植物は伊豆半島にも多いスダジイである。

後 記

1940年に始めて八丁池まで行った時、一緒であった父も友人の寺本一雄もすでに幽明を異にしてしまった。故寺本君には中学時代から植物について色々御教示戴いたが、東大理学部植物学教室に在学中に他界された。初期の天城山のカミキリ相の解明に努力された森可基。宿舎その他で非常に便宜をはかって下さった伊藤嘉六。この4名の御冥福を祈ります。

また採集や宿泊に多大の御援助を戴いた高木隆、うめ両氏や、カミキリの採集記録の纏めに御協力下さった小比賀正敬、衣笠恵士両博士をはじめ、露木繁雄、小宮次郎、木村欣二、中村俊彦、高桑正敏、山上明、鈴木和利、大木裕氏他、京浜地区のカミキリグループの方々に厚く感謝します。

Summary

From July 1948 to March 1973, more than 150 times of investigations were taken place by about 50 entomologists in total in Izu Peninsula (Shizuoka Prefecture, Japan), mainly at the Amagi Mountains. As a result of these investigations, 187 species of longicorn beetles were collected in this region. Izu Peninsula is divided into four zones according to the vegetations. The zones and numbers of longicorn beetles collected in each zone are as follows:

- A zone; *Shilia sieboldii*—*Machilus thumberg* forest (ca. 0-200 m, altitude), 54 species.
- B zone; *Quercus accutissima*—evergreen broad leaf forest (ca. 200-500 m), 119 species.
- C zone; *Abies firma*—evergreen broad leaf forest (ca. 500-1,000 m), 140 species.
- D zone; *Fagus crenata*—*Quercus mongolica* var. *grasseserrata* forest (ca. 1,000-1,400 m), 73 species.

The geographical features and the conditions of vegetation of this area as well as the host plants of each species are also described in details in this paper.

引用文献

- 1) BATES, H. W. 1884 Linn. Soc. Zool. London 18 : 209
- 2) HAYASHI, M. 1949 関西昆虫学会会報 14 (2) : 14
- 3) 1953 昆虫学評論 6 (5) : 39
- 4) 林 匡 夫 1955 原色昆虫図鑑 (上) p.43 保育社
- 5) 久 松 定 成 1951 採集と飼育 13 (6) : 196
- 6) 石 田 正 明 1966 昆虫と自然 1 (8) : 31
- 7) 木村欣二, 露木繁雄 1968 Insect Magazine No. 73 : 62, 63 (タイプ孔版誌)
- 8) 倉 形 和 男 1969 昆虫と自然 4 (12) : 6
- 9) 草 間 慶 一 1957 駿河の昆虫 No.20 : 507 (タイプ孔版誌)
- 10) 草 間 慶 一 1966 昆虫と自然 1 (5) : 7
- 11) MOTSCHULSKY, V. 1853 Etude Entomologique 2 : 48
- 12) 1857 ibid. 6 : 25
- 13) 1860 ibid. 9 : 4
- 14) 1861 ibid. 10 : 3
- 15) 1866 Bull. Soc. Imp. Sci. Nat. Moscou 39 : 163
- 16) 中 村 俊 彦 1967 Insect Magazine No. 70 : 7 (タイプ孔版誌)
- 17) OHBAYASHI, K. 1955 あきつ 5 : 7
- 18) 大 林 一 夫 1955 昆虫学評論 6 (8/9) : 59
- 19) 杉 本 順 一 1962 伊豆の植物 p. 24 東京緑友会
- 20) 文 化 庁 1971 天然記念物緊急調査, 植生図, 主要動植物地図22, 静岡県, 静岡県植生図解説 p.12.

追 記

原稿提出後2シーズンを経て追加したい記録がかなり出たが, 主なもののみを挙げるに止めた。

新たに目録に追加すべき種としては,

184. *Epiclytus yokoyamai* (KANO) ヨコヤマトラカミキリ
A帯, 採集記録: 石廊崎, 24. v. 1973, ヤシャブシの伐採木上 (鈴木)
185. *Aulaconotus pachypezoides* THOMSON タテジマカミキリ
A帯, 採集記録: 下田須崎, 26. iii. 1974, カクレミノの生木 (鈴木, 山上, 峰)
186. *Exocentrus (Pseudocentrus) guttulatus* BATES シラオビゴマフケシカミキリ
A帯, 採集記録: 下田, 9. vii. 1968 (山上一峰所蔵), 1. vii. 1973 (山上), 石廊崎, 31. vii. 1973 (鈴木)
187. *Oberea inclusa* PASCOE ホソキリンゴカミキリ
A帯, 採集記録: 石廊崎, 8. vi. 1974 (鈴木)

その他追加の記録の主なものとしては (目録中に加筆したものを除く), A帯の下田で No.109, ハイイロヤハズ (24. v. 1973, 鈴木), 城ヶ崎での No. 180, フチダクロチャバネリンゴ (2. vi. 1974, 4頭, 草間), No.182, ニセリンゴ (2. vi. 1974, 草間), 修善寺での No. 62, カッコウメダカ (18. vii. 1973, 三島次郎), B帯の猫越口での No. 123, センノキ (7. ix. 1970, 峰), C帯での No. 127, ゴマフキマダラ (天城峠, 19. vii. 1970, 山上), No. 155, ガロアケシ (天城峠, 27. v. 1971, 峰; 長九郎山, 25. vii. 1971, 山上), D帯の遠笠山での No. 142, チビコブ (29. iv. 1968, 峰) などがある。